デモ機能 パネル表示の変化について

電源コードをコンセントに差し込むと、電源「切」時にパネル表示が自動点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これを**デモ（デモンストレーション）機能**と呼びます。

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。デモ機能を「入」のままにしておくと、電源を「切」にしても、パネル表示は全消灯せず、デモ機能が働きます。

デモ機能を「切」にするには

デモ機能動作中に
“DEMO OFF” と表示するまで押し続ける

DEMO OFF

押し続けるたびに
DEMO OFF（切）⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。時計合わせの方法については、「時計を合わせる」（13 ページ）をご覧ください。

Panasonic®

DVD/MD ステレオシステム

取扱説明書

品番 SC-PM1DVD

このたびは、DVD／MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD ビデオのリージョン番号について

DVD ビデオには、発売地域ごとにディスクと機器に割り当てられたリージョン番号があります。本機の番号は「2」です。
本機は、「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。ディスクのジャケットもご参照ください。

など

DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　MDLP　Mini Disc

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT6539-4S

本機の特長

MDLP対応

本機はMDの長時間録音用フォーマットMDLPに対応しています。
今までのMDでは、ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding)という音声圧縮技術を使って、音楽データを約1/5に圧縮してMDに記録していました。
MDLPは、ATRAC 3という音声圧縮技術を使うことで、音楽データを約1/10、約1/20に圧縮して記録できるようになり、ステレオで2倍(LP2モード)、4倍(LP4モード)の長時間録音が可能になりました。

高速録音(最大4倍速)

CDからMDへ最大4倍速での録音が可能です。4倍速録音では、74分のディスクの場合約19分で録音が完了します。ただし、常に4倍速録音になるわけではありません。
なお、一度CDからMDへ高速録音した場合、録音を終了した時点から約74分間は、著作権保護のため、同じCDを高速で録音することはできません。

本書の読み方

■ディスク記号について

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。

DVD ：DVDビデオが楽しめる機能

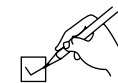
CD ：CDが楽しめる機能

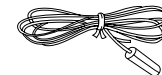
VCD ：ビデオCDが楽しめる機能

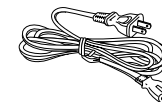
MD ：MDが楽しめる機能

MP3 ：MP3が楽しめる機能

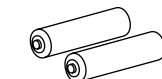
- ディスクによっては、これらの記号が付いている場合でも、できないものがあります。
- DVD、ビデオCDのなかには、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなども合わせてご参照ください。

付属品の確認

接続の前に、まず付属品を確かめてください。

☐ FM簡易型アンテナ……1本
(品番 RSA0007)

☐ AMループアンテナ……1本
(品番 N1DAAAA00001)

☐ 電源コード……1本
(品番 RJA0012-K)

☐ ビデオコード……1本
(品番 RJL1P016B15A)

☐ リモコン……1コ
(品番 EUR7702250)

☐ リモコン用単3形乾電池……2本

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ(　)内は、買い替え時の品番です。

もくじ

準備　再生　録音　その他　ご参考

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

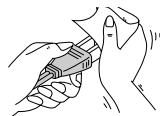
⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

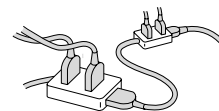
［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

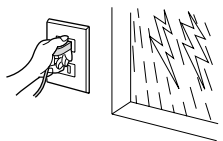
- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止
● 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

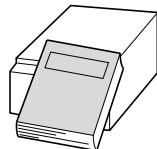
電源プラグを抜く

● **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
● **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

● そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
● 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

● 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

不安定な場所に置かない

● **上に大きなもの、重いものを載せない**
● **壁や天井に取り付けない**

● 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

スピーカーは付属のものを接続する

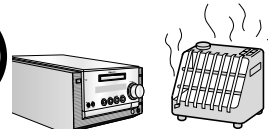
● 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

● 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

● 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
● 設置・工事は販売店にご相談ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

● 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
● 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

● 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

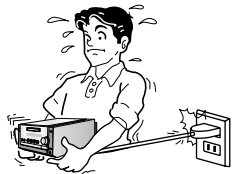
● 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

● 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

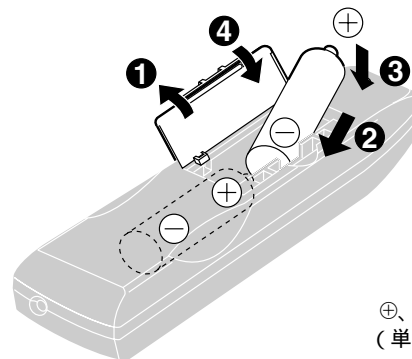
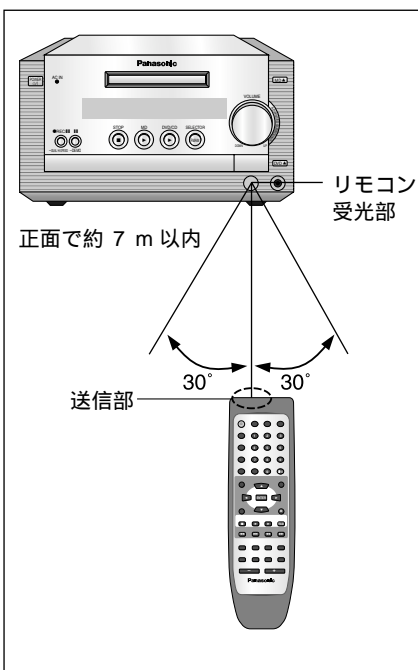
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた

リモコンの使いかた

■使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

■故障防止のために

- 分解、改造をしない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

ディスクについて

再生できるディスク

下記のマークが入ったディスク

DVD-R ディスクについて

DVD ビデオレコーダー（当社製）で DVD-R ディスク（当社製）に録画し、ファイナライズ※した DVD-R は「DVD ビデオ」として再生できます。ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できない場合があります。

CD-R/RW ディスクについて

本機は、CD-DA フォーマットまたは MP3 フォーマット、ビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できない場合があります。

※ DVD-R や音楽用 CD-R/CD-RW を再生対応機器で再生できるように処理すること。

MP3 ディスクの再生について

CD-R/RW を使って MP3 ファイルを記録したもので、基本的な操作は CD と同じです。

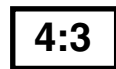
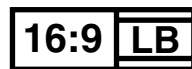
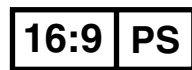
- 静止画データの入った MP3 ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
- 本機は、ID3 タグには対応していません。

× **再生できないディスク**

- リージョン番号に「2」または「ALL」の含まれていない DVD ビデオ
- PAL 方式で記録されたディスク
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD-Audio
- +RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CDV
- CD-G
- CVD
- SACD
- SVCD
- フォト CD　など

DVD、ビデオ CD のなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。
なお、表示窓に経過時間が表示されないディスクや、メニュー画面を持ったビデオ CD の場合、機能が働かない場合があります。

ジャケット上のマークについて

<画面サイズ（横：縦）>

マーク	説明
4:3	標準（4:3）サイズ
LB	レターボックス 4:3 で上下に黒帯が入っている画面
16:9 LB	16:9 のワイドサイズ 標準（4:3）サイズのテレビではレターボックスで再生
16:9 PS	16:9 のワイドサイズ 標準（4:3）サイズのテレビではパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生

<記録されている音声の種類>

DOLBY DIGITAL

ドルビーデジタル
本機では、このディスクを 2 チャンネルの音声で楽しめます。

DTS デジタルサラウンド
DTS デコーダー内蔵機器（別売り）と接続すると、DTS の音声を楽しめます。

<その他>イラストは例です。

音声数

字幕数

アングル数

各部のなまえ

表示が同じ場合、本体とリモコンの働きは共通です。

本体

⓮ などの数字は参照ページです。

AC IN（通電）ランプ
電源コードを接続すると
赤色点灯

天面部は開きません。

POWER ⏻/I（電源）ボタン

❚❚（一時停止）、ー DEMO（デモ）ボタン
表紙 ⓮ ⓰

●REC/❚❚（録音）、ー DUAL HI-SPEED（高速録音）ボタン ㉘ ㉙

DVD/CD トレイ ⓮

■ STOP（停止）ボタン ⓮ ⓰

▶ MD（MD 再生）ボタン ⓰

▶ DVD/CD（DVD/CD 再生）ボタン ⓮

MD 挿入口 ⓰

表示部（下記）

MD⏏（MD 取り出し）ボタン ⓰

VOLUME（音量調整）つまみ ⓮ ⓰

DVD⏏（DVD/CD トレイ開/閉）ボタン ⓮

∩（ヘッドホン）端子 ㊼

リモコン受光部

FM/AM、SELECTOR（入力切り換え）ボタン

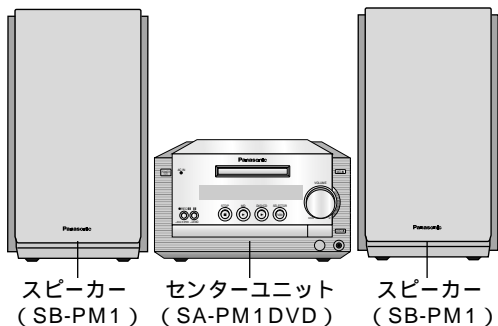
Panasonic
POWER ⏻/I
AC IN
●REC/❚❚ ❚❚
–DUAL HI-SPEED –DEMO
STOP MD DVD/CD SELECTOR
FM/AM
VOLUME
ADVANCED SURROUND
DOWN UP
MD⏏
DVD⏏

表示部

リモコン

⏻(電源)、TV⏻(TV 電源)ボタン ⑬ 55
PGM(予約)、－AREA(エリアバンク)ボタン ⑳ ㉗
PLAY MODE(再生モード)、
REPEAT(繰り返し)ボタン ⑳ ㉒
EDIT MODE(編集モード)、
●AUTO REC(丸録り)ボタン ㉛ ㉜
AUDIO(音声)、ZOOM(拡大)ボタン ⑱ ⑲
ANGLE、SUBTITLE(字幕)ボタン ⑱ ⑲
TOP MENU、
SETUP(初期設定画面表示)ボタン ⑬ ㊽
GUI DISP(TV 画面表示)、
DISPLAY(表示切り換え)ボタン ⑲ ㉔ ㊸
▶ MD(MD 再生)、●REC/❚❚(MD 録音)ボタン ⑳ ㉘ ㉚
■(停止)、ALL CLEAR、CANCEL ボタン ⑭ ㉚
⏮、⏭、∨ SKIP ∧(スキップ)、REC LEVEL
(録音レベル)ボタン ⑮ ㉙
SP/LP(MD 録音モード選択)ボタン ㉘
CLOCK/TIMER(時計、タイマー表示切り換え)ボタン ⑬ ㊹
SHIFT ボタン ⑬
SURROUND(音場)、CINEMA(画質)ボタン ㊷ ㊸
TITLE(タイトル入力)、
TV/VIDEO(TV 入力モード切り換え)ボタン ㊳ 55
CHARA(文字種類選択)、
∨ TV CH(TV チャンネル切り換え)ボタン ㊴ 55
DELETE(文字削除)、
TV CH ∧(TV チャンネル切り換え)ボタン ㊴ 55
1 ～ 0、≧10(数字)、文字入力ボタン ⑮ ㊴
MENU、P.MEMORY(ポジションメモリー)ボタン ⑮ ㉓
▲、▼、◀、▶(カーソル)、ENTER(確定)ボタン ⑮
❚❚(一時停止)、RETURN ボタン ⑭ ㊽
▶ DVD/CD(DVD/CD 再生)、QUICK REPLAY ボタン ⑱ ⑳
FM/AM、SELECTOR(入力切り換え)ボタン ㉖ 53
◀◀、▶▶、SLOW/SEARCH ボタン ⑮ ⑱ ㉖
SLEEP(おやすみタイマー)ボタン ㊻
◴ PLAY/◴ REC(タイマー入/切)ボタン ㊹
MUTING(消音)ボタン ㊸
SOUND(音質)、
D.ENH(ダイアログ エンハンサー)ボタン ㊷ ㊸
VOLUME(音量調整)、
TV VOL(TV 音量調整)ボタン ㉖ 55
Panasonic

設置 STEP 1

スピーカーは、右・左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。

より良い音響効果を得るために

- 床や壁から 5 cm 以上離して設置する。
- 平らで安定した場所に設置する。
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。

お願い

- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**
  本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- **スピーカーコードの⊕と⊖をショートさせないでください。**
  故障の原因になります。
- **本体とスピーカーは、1 cm 以上離してください。**
- **大きな音量で連続使用しないでください。**
  スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- **通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）**
  - 音がひずんだとき
  - レコードプレーヤーのハウリング音や FM 放送の局間ノイズ、発振器やテストディスクなど大きな振動信号が連続して加わるとき
  - 音質を調整するとき

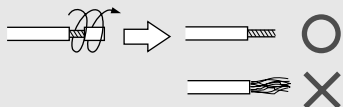
お知らせ

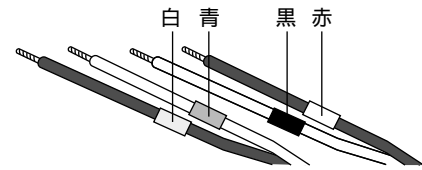
- 電源を切るときは、音量を下げておくことをおすすめします。（次に電源を入れたとき、急に大きな音が出ることがあります。）

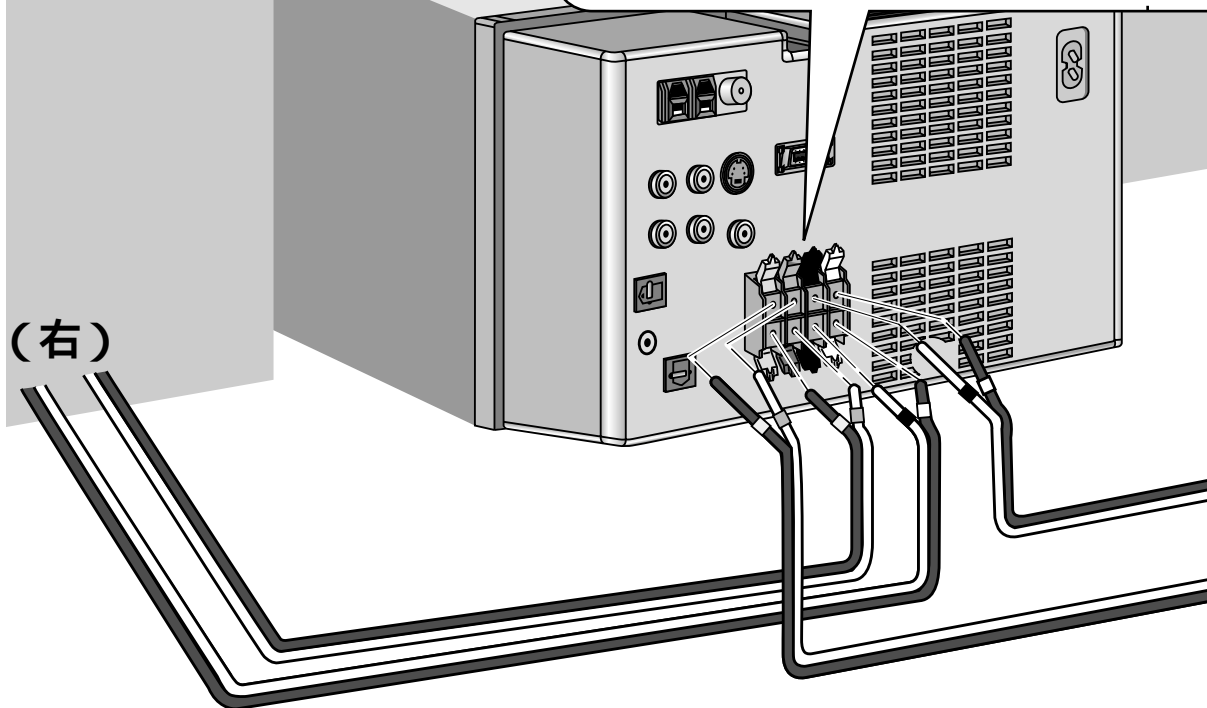
接続 STEP 2

❶ スピーカーの接続

芯線の出しかた：
ねじりながら抜き取ります。

○
×

端子のレバーと同じ色のチューブが付いたコードをつなぎます。（白色のチューブが付いたコードは灰色の端子につなぎます。）
誤った接続をすると故障の原因になります。

白　青　黒　赤

コードの先に付いたチューブの色を確認します。

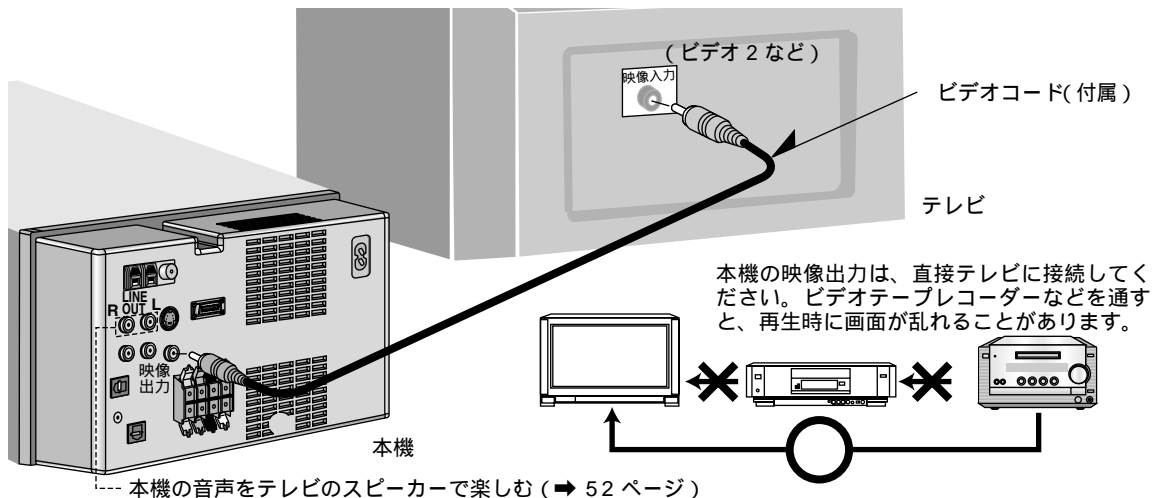
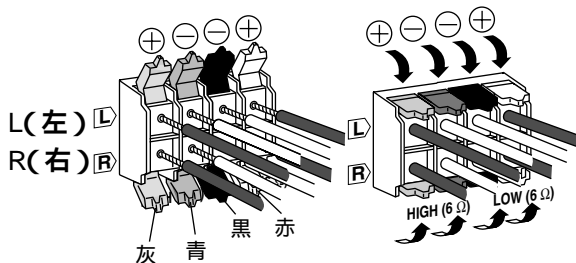
（右）

白/青のチューブが付いたコードは高域用
赤/黒のチューブが付いたコードは低域用です。

（左）

防磁設計について

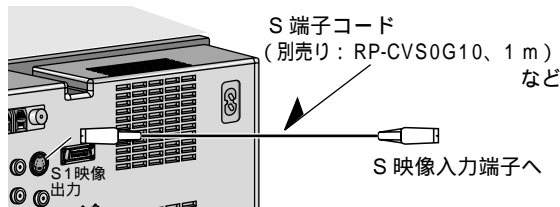
- 本スピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム（防磁設計 JEITA*）ですが、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。

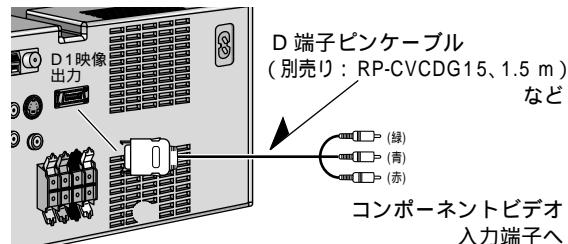
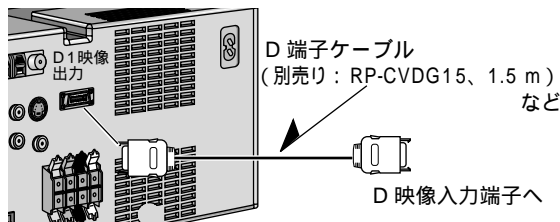
*「防磁設計（JEITA）」とは、（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

❷ TV と接続

本機の音声をテレビのスピーカーで楽しむ（➡ 52 ページ）

より良い映像を楽しむには

下記の映像入力端子を持つテレビに接続する場合は、ビデオコード（付属）のかわりに下記のいずれかの接続をすると、より鮮明な画像が得られます。（下図は一例です。）

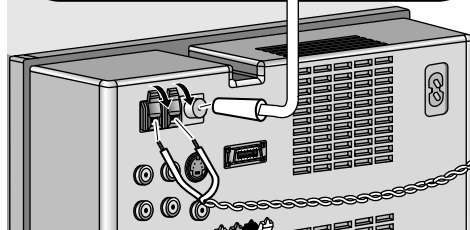
S 映像入力と接続する

D 映像入力と接続する

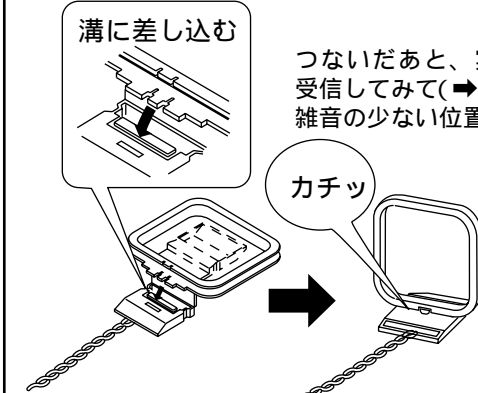
コンポーネントビデオ入力と接続する

お願い

- 接続した端子に合わせて、テレビ側で入力を切り換えてください。
- DVD に対応していない、ハイビジョン方式のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。（映像方式が異なりますので、画面が乱れたり、映らないことがあります。）

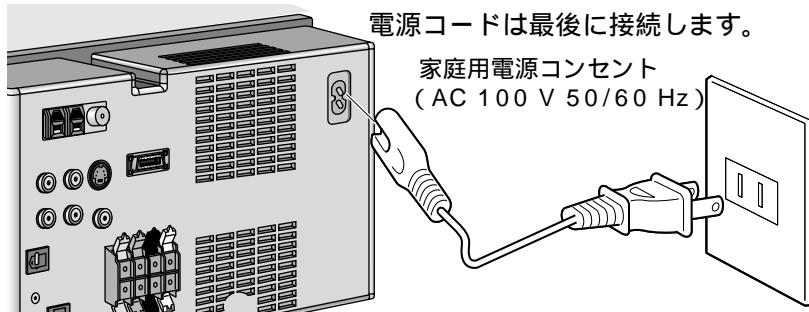
❸ アンテナの接続

FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて(➡ 26 ページ)、雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。

AM ループアンテナ

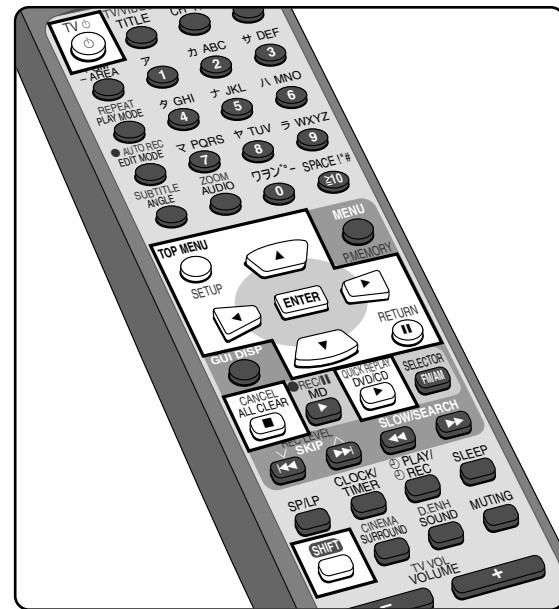
つないだあと、実際に放送を受信してみて(➡ 26 ページ)、雑音の少ない位置に置きます。

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ/ AM ループアンテナは必ず接続してください。
接続しないと放送局を受信できません。

❹ 電源コードの接続

電源コードは最後に接続します。

長期間使用しないときは
節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、時計の設定など、各種メモリーの再設定が必要な場合があります。

テレビに合わせて設定

標準サイズのテレビに接続し、ワイドサイズのソフトをパン&スキャンで映したい場合は設定を変える必要はありません。

準備:
- テレビの電源を入れる。
- 本機の接続に合わせてテレビの入力を切り換える(ビデオ 2 など)

■ **ひとつ前の画面に戻るには**
[SHIFT]を押しながら [RETURN]を押す。

■ **標準サイズのテレビでワイドサイズのソフトを映した画面について**

4 : 3 パン&スキャン
映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

4 : 3 レターボックス
画面の上下に黒い帯を入れて、4 : 3 の画面で 16 : 9 の映像を再現します。

お知らせ
- DVD の画面横縦比はディスクによってさまざまです。
- 必要に応じて、テレビ側の画面モードの設定も行ってください。

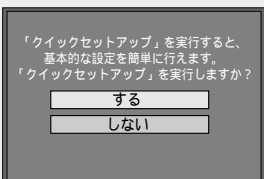
時計を合わせる STEP 4

TV ⏻ **押して、電源を入れる**

QUICK REPLAY DVD/CD **押して、“ DVD/CD ”にする**

ディスクが入っているときは、[■]を押す

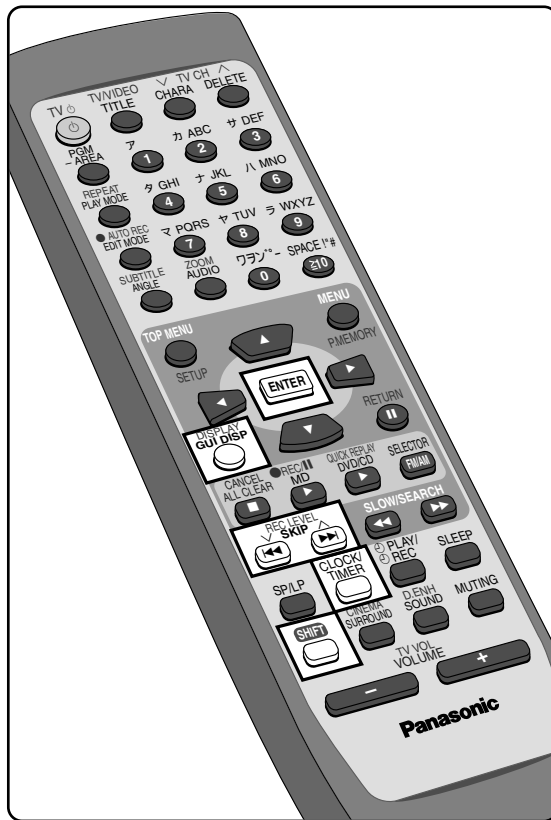
SHIFT **押しながら ▶** TOP MENU SETUP **押す**

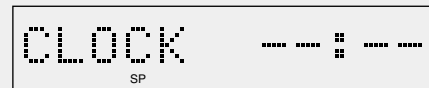
「クイックセットアップ」を実行すると、
基本的な設定を簡単に行えます。
「クイックセットアップ」を実行しますか？
する
しない

お買い上げ後初めてのときは、必要な設定を簡単に行える「クイックセットアップ画面」が表示されます。
(次回からは初期設定画面になります
➡ 48 ページ)

▲ **または** ▼ **押して、“ する ” または “ しない ” を選び**

ENTER **押す**

“ する ”を選んだ場合は、画面の指示に従って設定し、[ENTER] を押してクイックセットアップを完了してください。

“ しない ”を選んだ場合や、さらに設定を続ける場合は初期設定の変更画面になりますので➡ 48 ページの方法に従ってください。
設定を終了するときは、[SHIFT] を押しながら [SETUP] を押してください。

本機の時計は 24 時間表示です。
例： 16 時 25 分(午後 4 時 25 分)に合わせる。

CLOCK/TIMER **押して、“ CLOCK - -: - - ” を選ぶ**

CLOCK --:--
SP

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC → 元の表示

REC LEVEL SKIP ⏮ ⏭ **10 秒以内**
押して、時計を合わせる

- 押し続けると時刻表示が連続して変化します。
- 元の表示に戻ったときは、最初からやり直してください。

ENTER **または** CLOCK/TIMER 時報に合わせて **押す**

時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

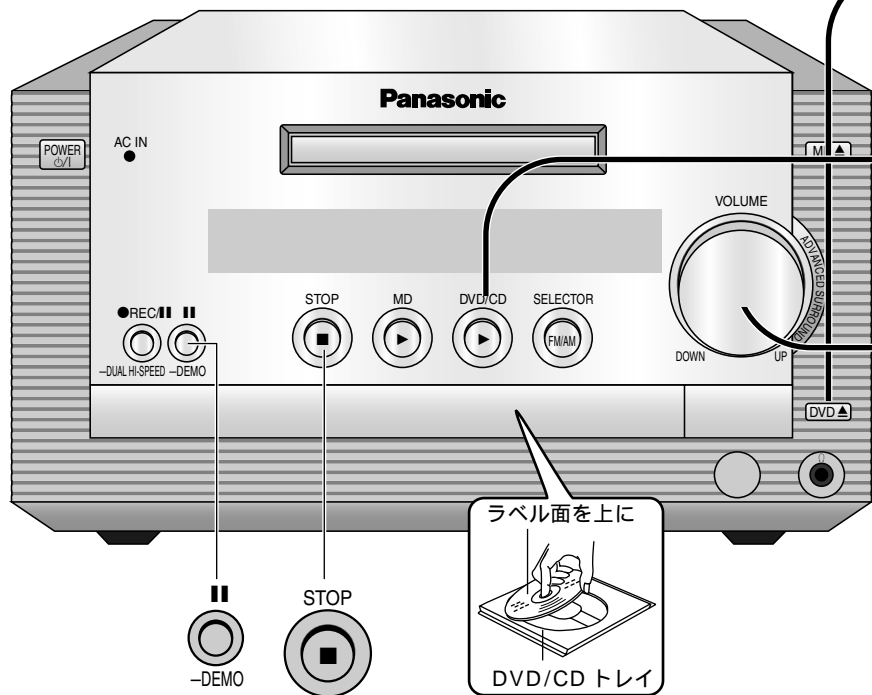
■ 電源「切」時に時計を確認するには

[SHIFT] を押しながら [DISPLAY] を押す。
約 5 秒間表示されます。

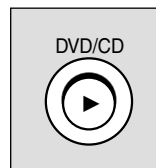
お知らせ

- 本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- コンセントを抜いたり、停電したりした場合は、再度設定をしてください。

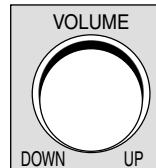
DVD/CD を再生する DVD CD VCD MP3

準備：
- テレビの電源を入れる。
- 本機の接続に合わせてテレビの入力を切り換える（ビデオ 2 など）

1

押して DVD/CD トレイを開け
ディスクをのせる

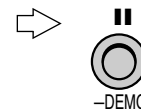
2

押して
再生を始める
DVD/CD トレイが自動的に閉まります。

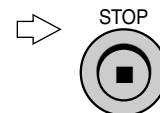
3

VOLUME
DOWN UP

回して
音量を調整する

最初から最後まで順に再生して、自動停止します。(メニュー画面が表示されたときは ➡ 右 ページ)

■ 一時停止するには

リモコンでは [❚❚] を押す
解除するには[▶ DVD/CD]を押す

■ 停止するには

リモコンでは [■] を押す

表示窓に、"RESUME"が表示しているときは、止めた位置が記憶されています。（続き再生メモリー機能 ➡ 右ページ）

"⊘"がテレビ画面に表示されたときは

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。

臨場感ある音で楽しみたいときは

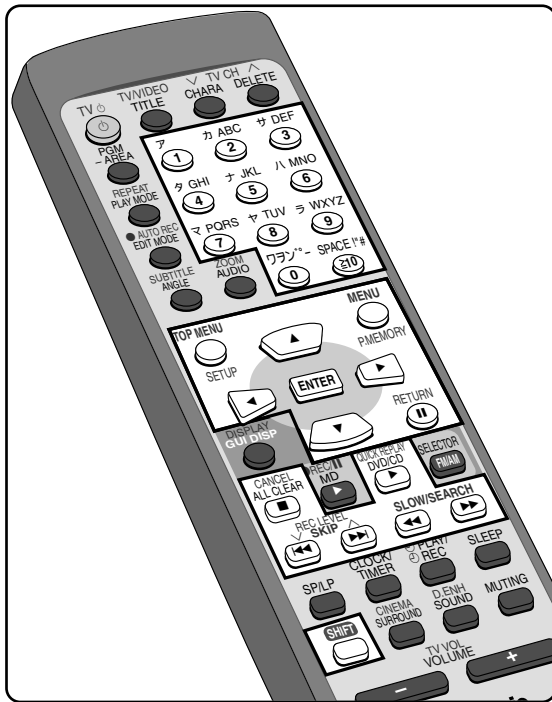
ADVANCED SURROUND（アドバンスドサラウンド） ➡ 42 ページ

お願い
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本体のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは [■ STOP]を押して再生を停止してください。

ご参考

[DVD ▲]を押してトレイを閉めた場合は、まずディスクの情報（曲数など）を読み込みます。ほとんどの DVD では、この後自動的に再生が始まります。
CD の場合は、再生までに少し時間がかかります。

PBC 付きビデオ CD について

PBC（プレイバックコントロール）を解除することで、連続再生や番号指定での再生が行なえるようになります。
メニュー表示中に[■ STOP]を押して停止させ、次にリモコンの数字ボタンで好みのトラック番号（1 など）を選んでください。そのトラックから連続再生を始めます。

■ メニュー画面を表示したときは

[▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[ENTER] を押す

- 複数のメニューを持つ場合、ディスクによっては、[|◀◀]または[▶▶|] で変えられる場合があります。

■ メニュー画面に戻すには

DVD: [MENU] を押す

ビデオ CD:[SHIFT]を押しながら[RETURN]を押す

＜複数のメニューを持つ DVD の場合＞

[TOP MENU] を押してもメニュー画面に戻すことはできますが、[MENU] を押した場合と異なるメニューが表示されることがあります。

場面や曲を飛び越す（スキップ）

REC LEVEL SKIP [|◀◀] [▶▶|] 再生中 **押す**

[|◀◀]：戻る [▶▶|]；進む

押した回数だけ飛び越します。

早送り・早戻しする（サーチ）

SLOW/SEARCH [◀◀] [▶▶] 再生中 **押す**

[◀◀]：戻る [▶▶]；進む

- 押すたびに速くなります。（5 段階）
- [▶ DVD/CD] を押すと通常再生に戻ります。
- DVD/ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。（“ 音声 ”の“ 早送り時の音声 ” ➡ 49 ページ）

場面や曲を番号指定する

ア 1　カ ABC 2　サ DEF 3　タ GHI 4　ナ JKL 5　ハ MNO 6　マ PQRS 7　ヤ TUV 8　ラ WXYZ 9　ワヲン゛゜ー 0　SPACE !"# ≧10

押す

選んだタイトル/トラックから再生が始まります。

- ディスクや再生状態によっては働かないことがあります。

10 以上の番号を選ぶとき

例）25 ：[≧10]→[2]→[5]

- MP3 の場合 [≧10] は不要です。曲番をそのまま押し、最後に [ENTER] を押してください。
- 停止中でのみ働くディスクもあります。
- MP3 ではトータルトラック番号を入力しても、表示窓にはグループ、トラック、曲の経過時間が表示されます。

記憶させた位置から再生する（ポジションメモリー機能）

SHIFT 再生中 **押しながら** ▶ MENU P.MEMORY **押す**

テレビ画面には“ 位置を記憶しました ” と表示されます。

電源を切る、またはディスクを取り出す。

電源を入れる、または位置を記憶させたディスクを入れ “ RESUME ”が表示されたら

QUICK REPLAY DVD/CD [▶] **押す**

前回記憶した位置から再生が始まります。メモリーは消去されます。

- ディスク 5 枚分まで記憶可能です。6 枚目以降は、一番古いメモリーから順に消去されます。
- ディスクによってはメモリーできないものもあります。

続き再生メモリー機能を使う

再生中 [■ ALL CLEAR] を押すと、停止した位置が記憶されます。

“ RESUME ”表示中に [▶ DVD/CD] を押すと、停止した位置から再生が始まります。

記憶した位置は、トレイを開けたり、ソースを切り換えたり、または電源を切ると解除されます。

あらすじリプレイ（DVD の同一タイトル内のみ）

“ RESUME ” 表示中に[▶ DVD/CD]を押すと、“ 再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります。” という画面が表示されます。この表示中に [▶ DVD/CD] を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、記憶した位置から再生が始まります。

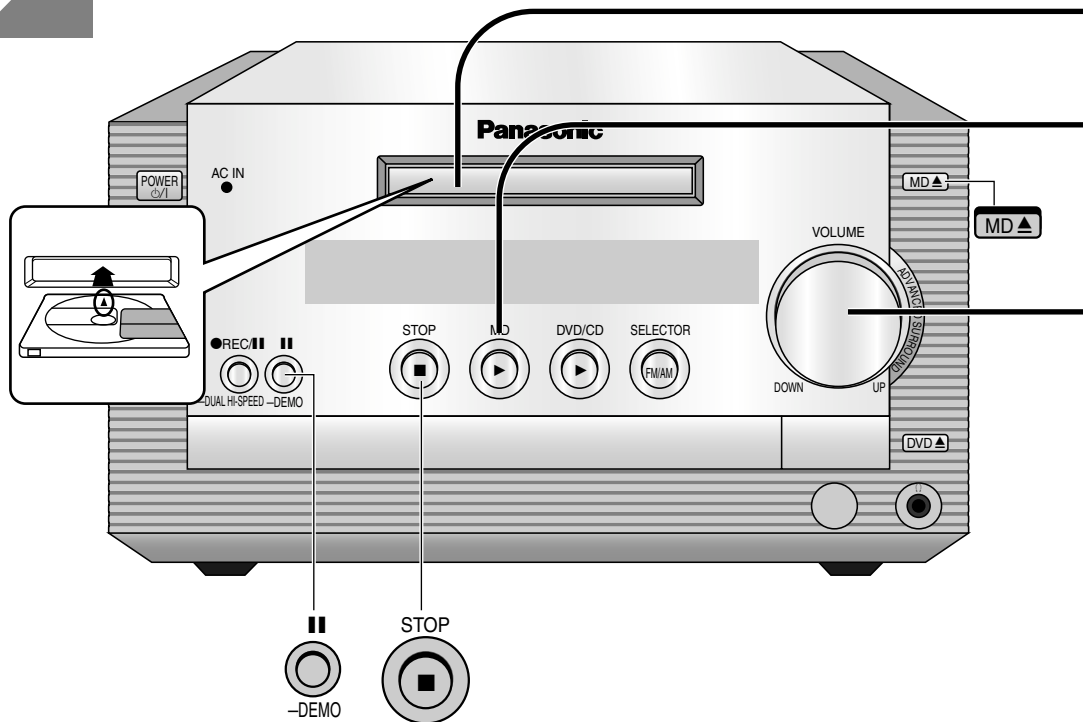
[▶ DVD/CD] を押さずに放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

あらすじリプレイ中に [▶ DVD/CD] を押すと、押した位置からの再生になります。

■ メモリー機能を解除するには

“ RESUME ”が消えるまで、[■ ALL CLEAR] を押す。

MD を再生する MD

● はじめて MD を使用する場合は、56 ページ「MD について」をお読みください。

1 録音済み MD を入れる
途中から自動的に引き込まれます

2
押して
再生を始める

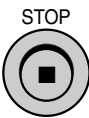
3
回して
音量を調整する

最初から最後まで順に演奏して、自動停止します。

■ 一時停止するには

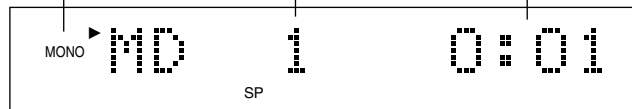
リモコンでは [II] を押す
解除するには [▶ MD] を押す

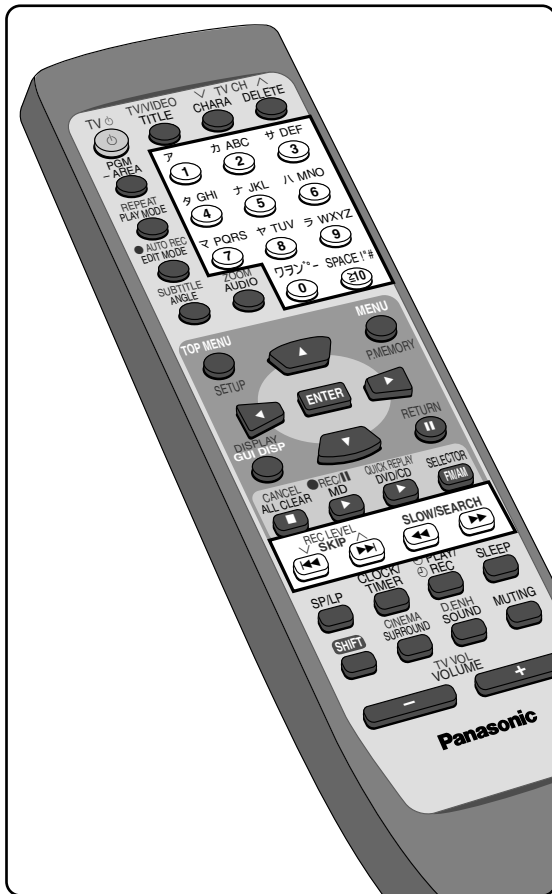
■ 停止するには

リモコンでは [■] を押す

■ MD を取り出すには

■ MD の表示について
MD 再生中は、次のような表示になります。

録音がモノラルの時点灯　演奏中の曲番　演奏経過時間

MONO ▶ MD 1 0:01
SP

SP：　演奏中の曲が通常録音モードで録音されている。
LP2：　演奏中の曲が長時間(2 倍)録音モードで録音されている。
LP4：　演奏中の曲が長時間(4 倍)録音モードで録音されている。

お知らせ
● MD 再生時は、テレビ画面には何も映りません。

曲を飛び越す（スキップ）

REC LEVEL SKIP [|◀◀] [▶▶|] 再生中
押す

[|◀◀]：戻る［▶▶|］；進む
押した回数だけ飛び越します。

早送り・早戻しする（サーチ）

SLOW/SEARCH [◀◀] [▶▶] 再生中
押し続ける
押している間だけ早送り・早戻しになります。

曲を番号指定する

ア 1　カABC 2　サDEF 3
タGHI 4　ナJKL 5　ハMNO 6
マPQRS 7　ヤTUV 8　ラWXYZ 9
ワヲン゛゜– 0　SPACE!"# ≧10

押す
選んだトラックから再生が始まります。

● ディスクや再生状態によっては働かないことがあります。

10 以上の番号を選ぶとき
例）25 ：[≧10]→[2]→[5]
　125：[≧10]→[≧10]→[1]→[2]→[5]

いろいろな再生

スロー再生する

DVD VCD

SLOW/SEARCH

一時停止中
押す

[◀◀]：戻る（DVD のみ）　[▶▶]：進む

- 押すたびに速くなります。（5 段階）
- [▶ DVD/CD]（再生）を押すと通常再生に戻ります。
- ビデオ CD では戻り方向のスロー再生はできません。

コマ送り・コマ戻しする

DVD VCD

一時停止中
押す

[◀]：戻る（DVD のみ）　[▶]：進む

- 押し続けると、連続してコマ送り/コマ戻し再生になります。
- [▶ DVD/CD]（再生）を押すと通常再生に戻ります。
- [❚❚] を押してもコマ送りできます。
- ビデオ CD ではコマ戻しはできません。

アングルを切り換える

DVD

（アングルが複数記録されているディスク）

SUBTITLE ANGLE

再生中
押す

（約 5 秒表示）

- 押すたびにアングルが切り換わります。

クイックリプレイ

見のがしたシーンや聞きのがしたときに前にもどって再生することができます。

DVD CD VCD MP3

SHIFT
再生中
押しながら

▼

QUICK REPLAY DVD/CD
押す

- 押すたびに約 7 秒〜 10 秒前に※戻り、再生します。（同一タイトル/トラック内のみ）
  ※ディスクの記録状況によって変わります。
- ディスクまたは再生箇所によっては働かないときもあります。

映像を拡大する（4:3 TV ズーム）

DVD

標準（4:3）サイズのテレビで、ワイドサイズの映像がレターボックスで再生されるとき、映像の中央部を拡大して、テレビ画面サイズに近付けることができます。ただし、左右の端が見えなくなります。

SHIFT
再生中
押しながら

▼

ZOOM AUDIO
押す

- ディスクによっては働かないことがあります。
- メニュー画面では、ズーム機能は働きません。
- ズーム再生中は、ディスク内のメニューの操作や表示が正しく働きません。
- 電源を切ったり、ソースを切り換えたり、またはディスクを入れ替えると、ズームは「切」になります。

音声を切り換える

DVD VCD

(音声が複数記録されているディスク)

再生中
押す

(約 5 秒表示)

- 押すたびに音声が切り換わります。

VCD:音声チャンネルの切り換え

- カラオケディスクではボーカルの入/切ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

字幕言語を切り換える

DVD

(字幕が複数記録されているディスク)

再生中
押しながら

SUBTITLE ANGLE
押す

(約 5 秒表示)

- 押すたびに字幕が切り換わります。
- 字幕の表示まで少し時間がかかることがあります。

■ 字幕を「入」「切」するには

1. [▶] を押す。
2. [▲、▼] で、「入」「切」を選ぶ。

音声属性

LPCM/**■■Digital**/**DTS**:信号タイプ
k:サンプリング周波数　**b**:ビット　**ch**:チャンネル

音声/字幕言語

日:日本語	**伊**:イタリア語	**露**:ロシア語
英:英語	**西**:スペイン語	**韓**:韓国語
仏:フランス語	**蘭**:オランダ語	※:その他
独:ドイツ語	**中**:中国語	

音声/字幕/アングル操作について

- ディスクのメニュー画面でのみ切り換えができる場合があります。
- "⊘" が表示されたときは
  ディスクに記録されていない音声/字幕/アングル番号を選んでいるため、変更できません。
- [SHIFT] を押しながら [RETURN] を押すと、画面表示が消えます。

好みの位置を記憶させる(マーカー)

DVD CD VCD MP3

再び見たい(聞きたい)箇所にマークを付けておくと、後でそこから再生することができます。(最大 5 箇所)

DISPLAY GUI DISP
数回押して
本機情報画面を表示させる
(➡ 25 ページ)

押して
下記絵表示を表示させる

マーカー

押して
マーカーを選ぶ

ENTER **押す**

ENTER もう一度見たい/聞きたいところで押し
マークを付ける

■ 他にマークを付けるには

[◀、▶] を押し、マークを付けたいところで [ENTER] を押す。

■ マークを付けた位置から再生するには

[◀、▶] でマークを選び、[ENTER] を押す。

■ マークを消すには

[◀、▶] でマークを選び、[SHIFT] を押しながら [CANCEL] を押す。

■ 画面表示を消すには

[GUI DISP] を押す。
または [SHIFT] を押しながら [RETURN] を押し続ける。

お知らせ

- 電源を切ったり、ソースを切り換えたり、またはトレイを開けるとマークは消去されます。

■ **10 以上を選ぶには**
[≧10] を 1 回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 24 のとき [≧10] → [2] → [4]

■ **100 以上を選ぶには**
[≧10] を 2 回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 235 のとき
[≧10] → [≧10] → [2] → [3] → [5]

お知らせ

● MP3 の場合 [≧10] は不要です。曲番をそのまま押し、最後に [ENTER] を押してください。

順不同に再生する（ランダム再生）

CD VCD MD

各トラックを 1 回ずつ順不同に演奏します。

REPEAT PLAY MODE

停止中
押して、" RANDOM "を選ぶ

RND RANDOM SP

押すたびに
（元の表示）→ 1-GROUP → RANDOM
（MD のみ）

※ 1-GROUP はグループ編集している MD でのみ表示されます。

QUICK REPLAY DVD/CD

押す
演奏が始まります。

または

●REC/❚❚ MD

■ **解除するには**
停止中に、[PLAY MODE] を押し、" RND "を消す。

■ **ランダムモードをくり返すには**
①" RANDOM "を選ぶ。
② 再生中に好みのリピート表示が出るまで、[SHIFT] を押しながら [REPEAT] を押し続ける。(➡ 22 ページ)

お知らせ

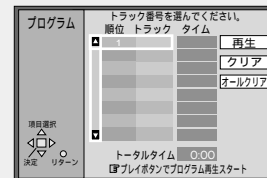
● ランダムプレイ設定中に MD 編集はできません。
● ランダムプレイ中は、前のトラックにスキップすることはできません。
● ランダムプレイ中にサーチすると、MD では、演奏中のトラックの中だけで早戻し・早送りし、VCD、CD では次のトラックへ移動します。

好みの順に再生する（プログラム再生）

GUI 画面を使って操作する

DVD CD VCD MP3

PGM – AREA

押す

DVD
押してタイトルを選び、続けてチャプターを選ぶ

CD VCD
押してトラックを選ぶ

MP3
押してグループを選び、続けてトラックを選び、[ENTER] を押す。

上記操作を繰り返す
最大 24 曲まで予約できます。

QUICK REPLAY DVD/CD

押す
予約曲を順に演奏して、自動停止します。

■ 演奏を停止するには

[■ ALL CLEAR] を押す。

■ プログラムを解除するには

停止中に [PGM －AREA] を押して“ PGM ”を消す。
（予約内容は保持されます）

● もう一度同じ内容で演奏するには

① [PGM －AREA] を押して、“ GUI 画面 ”を表示させる。
② [▶ DVD/CD] を押す。

■ 好みの曲をくり返すには

① 好みの曲をプログラムする。
② 再生中に好みのリピート表示が出るまで、[SHIFT]を押しながら [REPEAT] を押し続ける。(➡ 22 ページ)

■ 予約内容を確認するには

停止中に、[PGM －AREA] を押し、GUI 画面を表示させる。

■ プログラム画面のページを前後に移動するには

[◀◀] または [▶▶] を押す。

■ 予約を追加、変更するには

① [▲, ▼] を押して予約番号を選ぶ。
② 数字ボタンでタイトル、トラック等を選ぶ。

■ 予約を 1 つずつ取り消すには

① [▲, ▼] を押して取り消す予約番号を選ぶ。
② [▲, ▼, ◀, ▶] を押して、“ クリア ”を選ぶ。
③ [ENTER] を押す。

■ 全曲を取り消すには

① [▲, ▼, ◀, ▶] を押して、“ オールクリア ”を選ぶ。
② [ENTER] を押す。

■ 本体表示部に“ PGM PLAY? ”と出たら

予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上の予約はできません。
（GUI 画面では自動的に“ 再生 ”が選ばれた状態になります。）

お知らせ

- プログラム再生中のスキップは予約順に行われます。
- DVD の場合、ディスクによってはプログラム再生できないことがあります。
- 電源を切ったり、ソースを切り換えたり、ディスクを入れ換えたりすると解除されます。

GUI 画面を使わずに操作する

CD **MD**

CD

PGM －AREA 停止中
“ PROGRAM MEMORY MODE ” が表示されるまで
押し続ける

MD

PGM －AREA 停止中
押す

押して、曲番を選ぶ

この操作をくり返して、曲番を選ぶ

QUICK REPLAY DVD/CD ▶ **または** ●REC/❚❚ MD ▶

押す
予約曲を順に演奏して、自動停止します。

■ 演奏を停止するには

[■ ALL CLEAR] を押す。

■ プログラムを解除するには

（CD）[PGM －AREA] を“ PGM ”が消えるまで押す。
（MD）停止中に [PGM －AREA] を押して“ PGM ”を消す。
（予約内容は保持されます）

● もう一度同じ内容で演奏するには

① （CD）[PGM －AREA] を“ PGM ”が表示するまで押す。
（MD）[PGM －AREA] を押して“ PGM ”を表示させる。
② [▶ DVD/CD] または、[▶ MD] を押す。

■ 好みの曲をくり返すには

① 好みの曲をプログラムする。
② 再生中に好みのリピート表示が出るまで、[SHIFT]を押しながら [REPEAT] を押し続ける。(➡ 22 ページ)

■ 予約内容を確認するには

停止中に、[|◀◀] または [▶▶|] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

■ 予約を追加するには

停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

■ 全曲を取り消すには

停止中に、[■ ALL CLEAR] を押す。
“ ALL CLEAR ”が表示され、全曲の予約が取り消されます。ディスクを取り出した場合も解除されます。
（特定の曲のみを取り消すことはできません。）

■ 本体表示部に“ PGM FULL ”または“ PROGRAM FULL ”と出たら

予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上の予約はできません。

■ 本体表示部で予約曲の総演奏時間が“ －－：－－ ”となったら

予約時間が 250 分に達したことを示しています。ただし、続けて予約をすることができます。

お知らせ

- プログラム再生中のスキップは予約順に行われます。
- プログラム再生設定中に MD の編集はできません。
- 電源を切ったり、ソースを切り換えたりしてもプログラムは解除されません。おめざめタイマーなどでの使用に便利です。

お知らせ

- ディスクによっては働かないものもあります。
- DVD、MP3 では、ディスク全体のリピート再生は選べません。
- （MD 除く）
  同一タイトル/トラック内でのお好みの 2 点を繰り返す再生（AB リピート再生）は GUI のみできます。(➡ 25 ページ)

繰り返し再生する（リピート再生）

DVD CD VCD MD MP3

■ 解除するには

“ REPEAT OFF ”が表示されるまで、[SHIFT] を押しながら [REPEAT] を押し続ける。

MP3 のメニュー再生

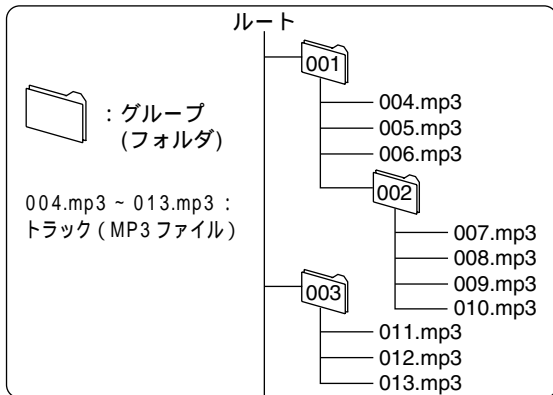
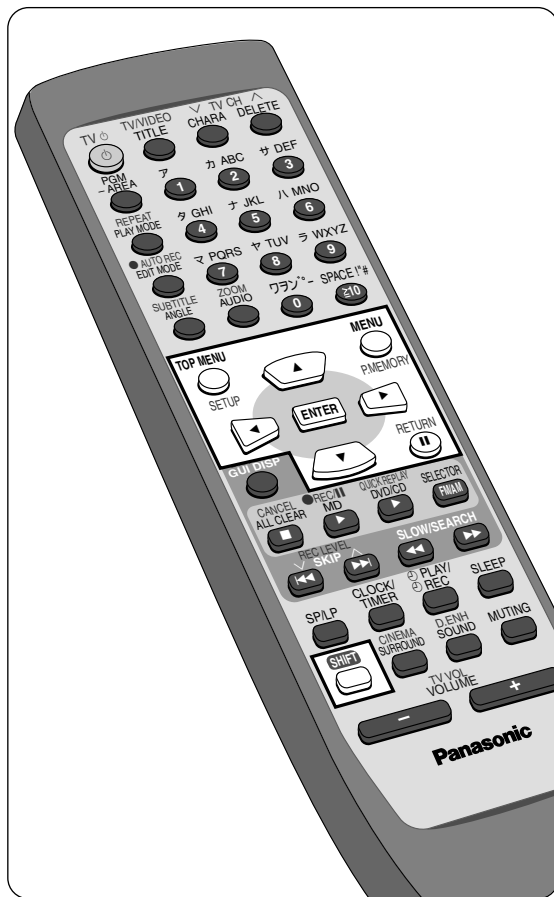
MP3

本機のメニュー画面は、パソコン等でフォルダや MP3 ファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名として表示することができます。

- 表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は“ _（アンダーバー）”で表示されます。
- メニュー画面での表示の順番は、パソコンのディスプレイで表示される順番と違うことがあります。
- 本機は、ID3 タグには対応していません。

本機で再生可能な MP3 を作成するには

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1 および level 2（拡張フォーマットを除く）
- 好みの順に再生したいときは、ファイル名の先頭に再生したい順でケタ数を揃えた数字を付けてください。（下図）ただし、順番通りに再生できないことがあります。
- 最大 999 曲まで再生可能です。

準備：

- テレビの電源を入れる。
- 本機の接続に合わせてテレビの入力を切り換える（ビデオ 2 など）

TOP MENU
SETUP
または
MENU
P.MEMORY

押して
メニュー画面を表示させる

押して
トラックを選び

ENTER **押して**
再生する

ディスクの最後まで続けて再生したあと、停止します。
●“ ” は再生中の曲を表します。

■ 前後のページを表示するには
[▲、▼、◀、▶] で、“ 前ページ ”、“ 次ページ ”を選んで [ENTER] を押す。

1 グループのすべてのトラックを表示したあとは、前後のグループを表示します。

■ MP3 リストを閉じるには
[TOP MENU] または [MENU] を押す。

ディスクの全体（ツリー画面）を見てグループを選ぶには

押して、ツリー画面を表示させる

押して、グループを選び

ENTER **押す**

選ばれたグループの MP3 リストが表示されます。

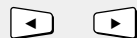
■ ひとつ前の画面に戻るには
[SHIFT] を押しながら [RETURN] を押す。

お知らせ

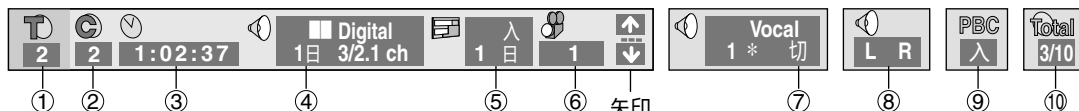
- 本機は、マルチセッションに対応しています。
  セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- サンプリング周波数 32 kHz の MP3 ファイルは再生できません。
- 8 階層より深い階層にあるグループは、8 階層目と同じ列に表示されます。

絵表示を使って操作する（GUI）

DVD CD VCD MP3

DISPLAY GUI DISP	**押して、変更したい画面表示を出す** 押すたびに「ディスク情報」→「プログレスインジケーター」→「本機情報」→元の画面の順に切り換わります。（➡ 右記）
▲ ▼	「本機情報」のときのみ、左端のアイコンが選ばれた状態で **押して、変更したい画面表示を出す** 押すたびにアイコンと選べる項目が切り換わります。（➡ 25 ページ）
◀ ▶	**押して、変更したい項目を選ぶ**
▲ ▼	**押して、内容を変更する** 数字ボタン→［ENTER］で変更できるものもあります。

GUI（Graphical User Interface）とは

「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する画面を「GUI 画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。
録音中に GUI 画面を操作すると、録音される音に影響が出る場合があります。

ディスク情報

項目	内　容	操作
①	**タイトル番号** DVD **トラック番号** CD VCD **グループ番号** MP3	［▲、▼］ ↓ ［ENTER］
②	**チャプター番号** DVD **トラック番号** MP3	
③	**時間指定再生** DVD 例）1 時間 46 分 50 秒から再生 ［1］→［4］→［6］→［5］→［0］	［数字ボタン］ ↓ ［ENTER］
	時間表示 DVD CD VCD **経過時間のみ表示** MP3 → タイトル／トラックの経過時間 ↕ ディスクの残り時間 （CD/VCD のみ） ↕ → タイトル／トラックの残り時間	［▲、▼］
④	**音声言語** DVD VCD （➡ 19 ページ） 番号を選ぶとその音声で再生	［▲、▼］

項目	内　容	操作
⑤	**字幕番号** DVD 字幕「入」「切」	［▲、▼］
	MP3 **文字情報「入」「切」**	
⑥	**アングル番号** DVD	
⑦	**（カラオケ DVD のみ）** **カラオケボーカル「入」「切」** デュエットディスクの場合、「V1」または「V2 」を選ぶと、デュエットできます。	
⑧	**音声チャンネル** VCD L↔R↔LR ↑＿＿＿↑	
⑨	**（PBC 付** VCD **のみ）** **メニュー再生の「入」「切」状態表示**	変更不可
⑩	MP3 **トータルトラック番号** 再生・選択中のトラック番号およびディスク内の総トラック数が表示されます。	［▲、▼］ ↓ ［ENTER］

■ **GUI 画面の位置（5 段階）を変えるには**
1 カーソルボタン［◀、▶］で矢印を選ぶ
2 カーソルボタン［▲、▼］で切り換える

■ **画面表示を消すには**
消えるまで［SHIFT］を押しながら、［RETURN］を押す

プログレスインジケーター

タイトル、トラック内で、現在どの部分を再生しているかを表示します。再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

I/P/B とは
DVD では、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。
I-picture: 共用データの基準として単独で記録されるフレーム
P-picture: 過去の I-picture、または P-picture を元につくられるフレーム
B-picture: I/P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-picture の画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-picture で一時停止することをおすすめします。

本機情報

項目	内　容	操作
①	**A-B リピート再生** DVD CD VCD MP3 始点と終点の間を繰り返し再生。 (同一タイトル/トラック間のみ) もう一度[ENTER]を押すと通常再生に戻る。	始点(A) **[ENTER]** ↓ 終点(B) **[ENTER]**
②	**リピート再生** (➡ 22 ページ) DVD C(チャプター) T(タイトル) CD VCD MP3 T(トラック) A(ディスク全体) G(MP3 のみグループ)	**[▲、▼]**
③	**再生モード** DVD CD VCD MP3 ---:通常再生 PGM :プログラム再生 RND :ランダム再生	**変更不可**
④	**マーカー** DVD CD VCD MP3	(➡ 19 ページ)

項目	内　容	操作
①	**4:3 TV ズーム** DVD (➡ 18 ページ)	**[▲、▼]**
②	**IPB 表示** DVD 一時停止時に静止画像種類表示(I/P/B)の入/切を設定	

項目	内　容	操作
①	**ADVANCED SURROUND** (アドバンスド サラウンド) DVD CD VCD MP3 (➡ 42 ページ)	**[▲、▼]**
②	**0.1 ch 再生** DVD 低音を強調する。 「切」:オフ、「1」:オン、「2」:オン ●「1」と「2」の効果は同じです	
③	**DIALOGUE ENHANCER** (ダイアログ エンハンサー) DVD (➡ 43 ページ)	

項目	内　容	操作
①	**画質モード** (➡ 43 ページ) Nor.:通常画質 Cin.1 :シネマ画質 1(しっとり) Cin.2 :シネマ画質 2(くっきり) User :ユーザー画質 各種調節ができます	**[▲、▼]**

⬇

項目	内　容	操作
②	**コントラスト (− 7 〜+ 7)** 白黒の強弱	**[◀、▶]** ↓ **[▲、▼]**
③	**ブライトネス (0 〜+ 15)** 明るさ	
④	**カラー (− 7 〜+ 7)** 色の濃さ	

ラジオを聞く

1 押して
“FM”または“AM”を選ぶ

SELECTOR FM/AM

2 押して
好みの放送局を受信する

SLOW/SEARCH

TUNED ：正確に受信すると点灯
ST ：FM ステレオ放送を受信すると点灯

TUNED ST FM 88.1

自動選局（オートチューニング）するには、周波数が動き出したら指を離す
放送局を受信すると、止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

3 押して
音量を調整する

TV VOL VOLUME − +

お知らせ

- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。
（➡ 53 ページ）
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。

■ TV 音声 1 〜 3ch を聞くには

⇨ SLOW/SEARCH

“FM”を選んでいるときに押し、好みの TV 局を受信する

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは

⇨

“MONO”が表示されるまで、押す

押すたびに　MONO ⇆ 表示なし

通常は表示なしにしておきます。

放送局を記憶させて聞く

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
- FM、AM とも、15 局ずつ記憶させることができます。

お住まいの地域を選択する(エリアバンク)

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。
準備：
[FM/AM] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。
どちらを選んでいても、一度の操作で両方とも設定されます。

■ 途中で解除するには
[■ ALL CLEAR] を押す。
元の表示に戻ります。

好みの局だけ指定する(マニュアルメモリー)

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶することができます。
準備：
[FM/AM] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。

続けて記憶させるときは、手順「周波数を合わせる」に戻る

■ 途中で解除するには
[PGM －AREA] を押す。
元の表示に戻ります。

記憶させた放送局を聞く

準備：
[FM/AM] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。
(TV 音声受信時は“ FM ”)

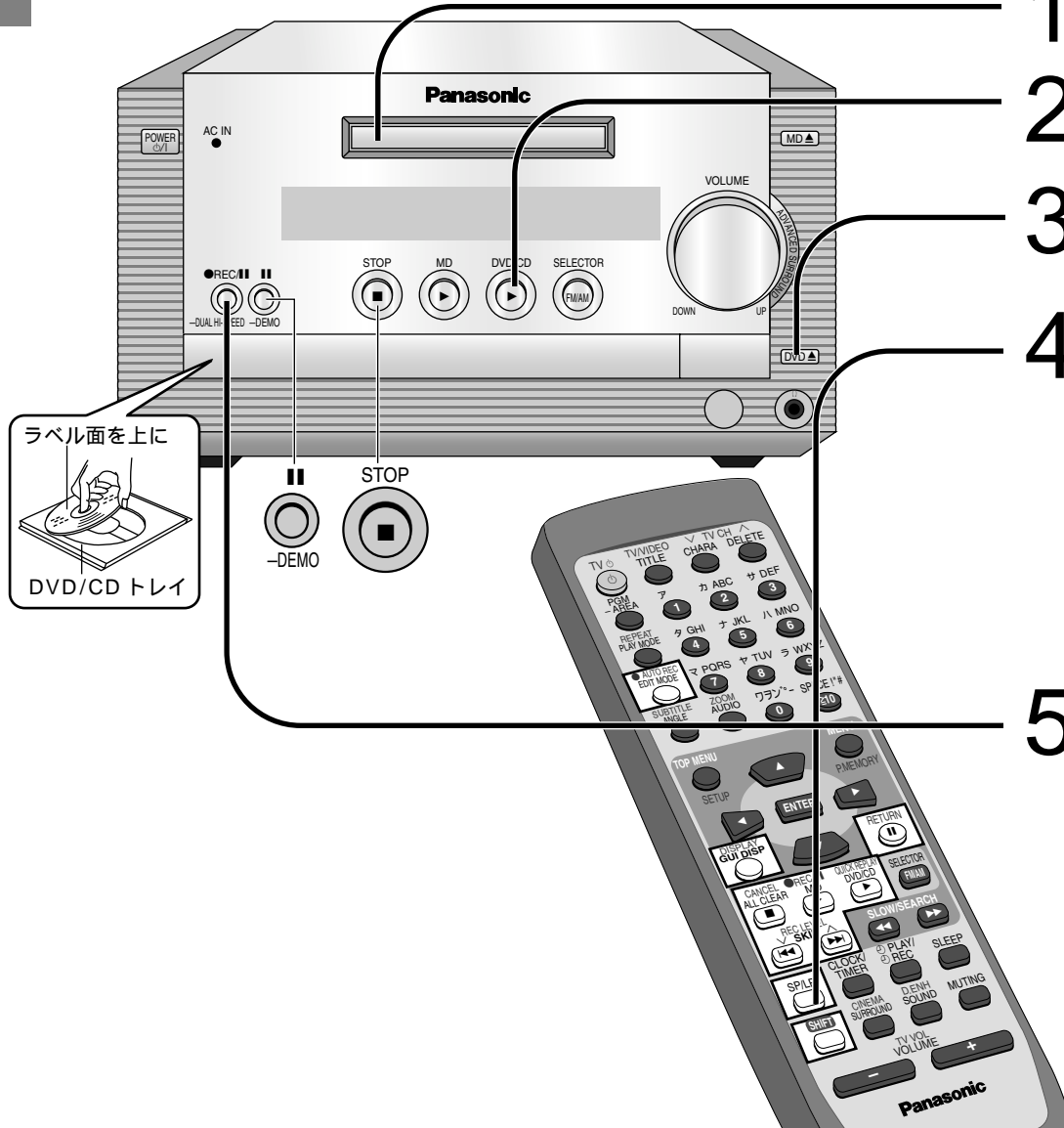
エリアバンクに記憶されている放送局のときは、チャンネル表示から放送局名の表示になります。

■ 数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶこともできます。
10 以上のチャンネルを選ぶには
(例) 12 ： SPACE!"# ≧10 → ア 1 → カABC 2

エリアバンク(2002 年 4 月現在)

エリア	地域名	エリア	地域名	エリア	地域名
1	札幌	15	名古屋圏	28	山口
2	青森		(名古屋、岐阜)	29	高松・岡山
3	秋田	16	津	30	徳島
4	盛岡	17	新潟	31	松山
5	山形	18	富山	32	高知
6	仙台	19	金沢	33	福岡
7	福島	20	福井	34	北九州
8	宇都宮	21	大津	35	佐賀
9	水戸	22	奈良	36	長崎
10	前橋	23	和歌山	37	大分
11	東京圏	24	大阪圏	38	熊本
	(東京,横浜,千葉,さいたま)		(大阪、神戸、京都)	39	宮崎
12	甲府	25	鳥取	40	鹿児島
13	松本	26	松江	41	那覇
14	静岡	27	広島		

DVD/CD を MD に録音する

● はじめて MD を使用する場合は、56 ページ「MD について」をお読みください。
● ADVANCED SURROUND（アドバンスド サラウンド）はオフにしておいてください。(➡ 42 ページ)

ラベル面を上に
DVD/CD トレイ

1 録音用 MD を入れる
途中から自動的に引き込まれます

2
DVD/CD
押して
“ DVD/CD ” を選ぶ

3
DVD▲
押して DVD/CD トレイを開け
ディスクをのせる
閉めるにはもう一度押す

4
SP/LP
押して
SP/LP2/LP4 を選ぶ

SP MODE：
通常・ステレオ録音モード

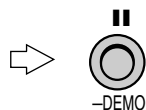
LP2 MODE：
ステレオ長時間（2 倍）録音モード（74 分ディスクで 148 分、80 分で 160 分録音可能）

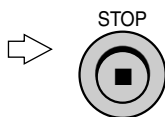
LP4 MODE：
ステレオ長時間（4 倍）録音モード（74 分ディスクで 296 分、
80 分で 320 分録音可能）

5
押して
録音を開始する
リモコンで行う場合は、[SHIFT] を押しながら [● REC/❚❚] を押す。
“ REC ”が表示されて、1 曲目から録音が始まります。（演奏が終わると、MD も自動停止）

録音時の音量・音質効果について
- 音量を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音される MD には影響しません。
- 録音中に GUI 画面を操作すると、録音される音に影響が出る場合があります。

■ 一時停止するには

リモコンでは [II] を押す
解除するには [▶ DVD/CD] を押す

■ 停止するには

リモコンでは [■] を押す

■ MD の残り時間を知るには

[SHIFT] を押しながら [DISPLAY] を押す。
SP/LP2/LP4 の各モードによって残り時間の表示も変わります。

お知らせ

- DVD やビデオ CD はアナログ録音になります。
- DVD はシーンによっては録音できない場合があります。その場合は、録音できるチャプターまで移動させてから録音を開始してください。
- 録音中に [● REC/II、ー DUAL HI-SPEED] を押すと、MD は一時停止します。（DVD/CD は再生を続けます。）
  解除するには同じ操作を行なってください。

録音モード

MANUAL（マニュアル）： 通常の録音モードです
録音中に [EDIT MODE] を押すと、“TR-MARKING”と表示され、その時点にトラックマーク (➡ 56 ページ) が付きます。

TURN BACK（ターン バック）：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。ラジオや CS/BS 放送を録音するときに使います。

TIME MARK（タイム マーク）：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。ラジオなどから録音するときに使います。

TURN/TIME（ターン タイム）：数秒前の音から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。ラジオなどから録音するときに使います。

気に入った曲をすぐ録音するには（追っかけ録音）

演奏中に [● REC/II、ー DUAL HI-SPEED] を押す。
曲の始めに戻って録音し、最後の曲まで終わると、MD は自動停止します。トラックの途中から録音したい場合は、DVD/CD を一時停止し、[● REC/II、ー DUAL HI-SPEED] を押す。

“SCMS”または“SCMS CAN'T COPY”と表示されたら

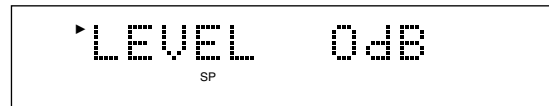
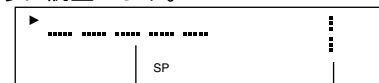
CD-R や CD-RW から録音しようとすると、デジタル録音が制限されるために、このメッセージが出ることがあります。このとき、MD に余分なトラックが記録されることがありますので、トラックイレース(➡ 37 ページ) を使ってそのトラックを消してください。正しく録音するには、リモコンの [EDIT MODE] を押して、“ANALOG-REC”にすると、録音できます。
ただし、高速録音(➡ 30 ページ) はできません。

■ 高速録音するには（➡ 30 ページ）

手順 **5** で
“HIGH SPEED”が表示されるまで、
[● REC/II、ー DUAL HI-SPEED] を押し続ける。

■ 録音レベルを調整するには

MD に録音してみて、音量に不足を感じる場合などに使用します。

① DVD/CD を再生する。
② [SHIFT] を押しながら [|◀◀] または [▶▶|] を押す。
±10dB の範囲で調整できます。

最大音量のときに入力レベルが上限ポイントを超えないように調整します。

お知らせ

- 録音レベルを調整しているとき、スピーカーから聞こえる音は変化しません。
- 電源を切ると録音レベルは“0dB”に戻ります。
- 録音レベル調整のボタン操作のない状態が約 10 秒間続くと元の表示に戻ります。
- 上限ポイントを超えると、音がひずんで録音されることがあります。

ステレオ長時間モードについて

- ステレオ長時間 2 倍（LP2）または 4 倍（LP4）モードで録音された曲は、MDLP に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。
- MDLP に対応していない機器では、曲タイトルの先頭に“LP：”が表示され、無音で演奏されます。
  MDLP に対応した機器で演奏すると、“LP：”は表示されません。
- ステレオ長時間 4 倍（LP4）モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、ステレオ（SP）モードまたはステレオ長時間 2 倍（LP2）モードをおすすめします。

いろいろな録音

準備：

① 録音用 MD を入れる。(➡ 28 ページ)

②入力を " DVD/CD " にし、ディスクを入れる (➡ 28 ページ)

③ [SP/LP] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 28 ページ)

■ 途中で止めるには

[■ ALL CLEAR] を押す。

" UTOC Writing "の点滅後、録音が停止します。

■ MD の残り時間を知るには

[SHIFT] を押しながら、[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

高速で録音する（CD のみ）

CD から MD へ高速で録音します。

ディスクや条件によっては、最大速にならない場合があります。

停止中

押しながら

" HIGH SPEED "が表示されるまで、押し続ける

高速録音が始まります。

お知らせ

- プログラムプレイ、リピートプレイ、ランダムプレイを使った高速録音はできません。
- 高速録音時は録音レベルを変えることはできません。
- 高速録音時に一時停止はできません。
- 高速録音時に音声は聞こえません。
- 高速録音時では、CD の状態によって、音飛びや、MD にノイズが記録されることがあります。この場合、一度、CD を取り出し、きれいに拭いたあと定速録音を行うと改善される場合があります。
- ディスクにキズがあったり、またはその他の条件によって、ディスクの情報をうまく読み取れないことがあります。その場合は自動的にいったん録音を停止して、もう一度高速録音を行います。（この場合、" REC RETRY1 "または" REC RETRY2 "が表示されます。）
- 高速録音を再開するまでには少し時間がかかることがあります。" REC RETRY1 "、" REC RETRY2 "の表示が出ている間は何も操作しないでください。

高速録音の制限について

この製品の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用していますので以下の制限があります。

■ この製品は、録音を終了した時点から 74 分間は、同じ CD を高速で録音することができないようになっています。

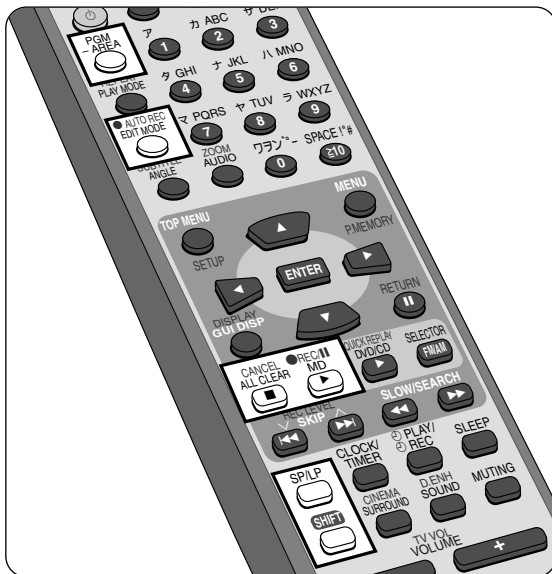
- 録音を途中で止めたときも、同じ CD は続けて高速で録音することはできません。
- 高速録音後、74 分が経過する前に電源コンセントを抜くと、再度 74 分間高速録音ができなくなります。

■ 一度に 24 枚まで録音できます。

- 1 枚目の CD を高速録音した後、約 74 分以内に、それぞれ異なる 24 枚の CD は高速録音できますが、25 枚目の高速録音はできません。

さらに高速録音しようとすると、本体表示部に" PLEASE WAIT ○○ min. "(○○は数字) が数秒間、点灯します。

この場合は、○○分 (○○は数字) 経過してから高速録音してください。

高速録音できない場合でも定速では録音できます。

好みの曲を予約して録音する（プログラム録音）

録音したい曲をプログラムする
(➡ 20、21 ページ)

押しながら

押す
録音が始まります。

■ プログラムを解除するには
(➡ 21 ページ)

■ 予約全曲を取り消すには
(➡ 21 ページ)

DVD/CD を丸録りする

入力を DVD/CD に切り換え、DVD/CD 全曲を MD に録音します。

準備：
① 録音用 MD を入れる。(➡ 28 ページ)
② 録音したいディスクを入れる。
③ [SP/LP] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 28 ページ)

停止中
押しながら

押す

“ AUTO REC ”が表示され録音が始まります。

お知らせ

- 丸録りを高速録音で行なうことができます。上記のボタン操作を“ HIGH SPEED ”が表示されるまで押し続けてください。
- 丸録り時は、録音されたトラック全部をひとつのグループとして扱います。ただし、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- ランダムや、プログラムは解除されます。
- MD に 1 曲も録音できない場合、“ NO REMAIN ”と表示されます。
- MD に 1 曲以上録音できても全曲の録音ができない場合、“ REMAINING SHORT ”と表示されます。この表示中に、[■ ALL CLEAR] を押すと丸録りをキャンセルできます。SP/LP2/LP4 のモードを変えることで丸録りができる場合があります。
- 全曲録音ができない場合、最後のトラックは途中で切れる場合があります。
- メニュー付きの DVD やビデオ CD では、メニュー部分だけを繰り返し録音する場合があります。

ラジオを録音する

準備：
① 録音用 MD を入れる。(➡ 28 ページ)
② [SP/LP] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 28 ページ)
③ ラジオを受信する。

押して、録音モードを選ぶ
(➡ 29 ページ「**録音モード**」)

MANUAL、TIME MARK 選択時は

押しながら

押す
録音が始まります。

TURN BACK, TURN/TIME 選択時は

① **押しながら** ▶ **押す**

“ TURN BACK ”と“ STAND BY ”が交互に表示されます。

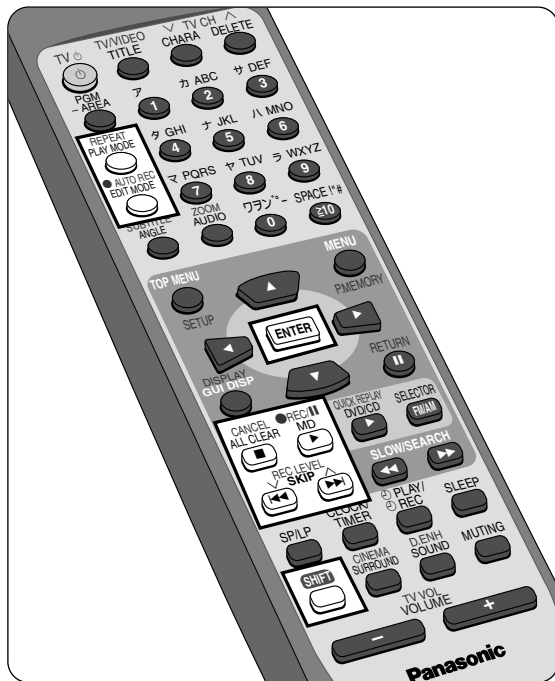
② **押しながら** ▶ **押す**

録音が始まります。

■ 一時停止するには
[SHIFT] を押しながら [●REC/II] を押す。
解除するには同じ操作を行なう。

お知らせ

- エリアバンクで記憶された放送局を録音すると、放送局が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。

グループで聞く

準備：
① 編集したい MD を入れる。(➡ 16 ページ)
② [▶ MD] を押して、" MD "を選び、
[■ ALL CLEAR] を押す。

お知らせ

- グループにできるのは、連続した曲（例：1 曲目〜10 曲目）のみです。「3 曲目と 7 曲目と 9 曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- 本機でグループ編集を行った MD を、さらに、グループ機能未対応の機種で編集操作を行った場合、グループ管理情報が使えなくなる可能性があります。
- 本機でグループ編集を行った MD を、グループ機能未対応の機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。

曲をグループにまとめる

MD に録音した曲を好みのひとかたまりのグループとして管理できます。(**最大 99 個のグループがつくれます。**)

停止中に

全曲ともグループ編集されている場合は、" SET? " は選べません。

グループの名前を付ける (➡ 39 ページ)

" UTOC Writing "の点滅後、グループ編集が完了します。

■ 途中で止めるには

[■ ALL CLEAR] を押す。

グループを解除する

- **ひとつのグループを解除するには**

① [EDIT MODE] を押して、" GROUP? "を選び、[ENTER] を押す。
② [|◀◀] または [▶▶|] を押して、" RELEASE? "を選び、[ENTER]を押す。
③ [|◀◀] または [▶▶|] を押して、解除したいグループを選び、[ENTER] を押す。
④ [ENTER] を押す。
" UTOC Writing "が表示されます。

- **全グループを解除するには**

① [EDIT MODE] を押して、" GROUP? "を選び、[ENTER]を押す。
② [|◀◀] または [▶▶|] を押して、" ALL RELEASE? "を選び、[ENTER] を押す。
③ [ENTER] を押す。
" UTOC Writing "が表示されます。

グループごとに聞く

グループ名を変更するには

●AUTO REC EDIT MODE

押して、“ GROUP? ”を選ぶ

GROUP?

ENTER **押す**

SET?

REC LEVEL SKIP **押して、“ TITLE? ”を選ぶ**

TITLE?

ENTER **押す**

押して、グループを選ぶ

G 2*MY BE

ENTER **押す**

グループの名前を付ける（➡ 39 ページ）

ENTER **押す**

UTOC Wri

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。

まず、グループ編集を行ってください。（➡ 32 ページ）

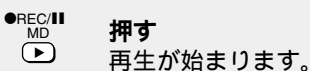
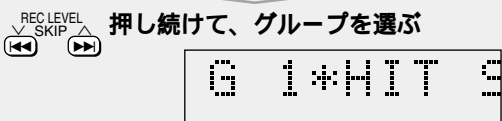
1 グループのみを聞く（1 グループプレイ）

準備：
[▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、
[■ ALL CLEAR] を押す。

REPEAT PLAY MODE **押して、“ 1-GROUP ”を選ぶ**

1-GROUP

REC LEVEL SKIP **押し続けて、グループを選ぶ**

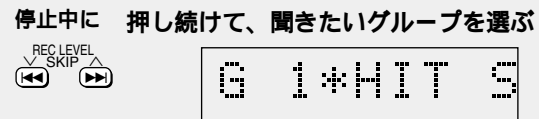
●REC/❚❚ MD ▶ **押す**
再生が始まります。

■ 解除するには
停止中に、[PLAY MODE] を押し、“ 1-GROUP ”を消す。

お知らせ

- 1 グループプレイ設定中に MD の編集はできません。

グループを前後に飛び越す（グループスキップ）

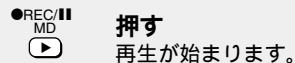
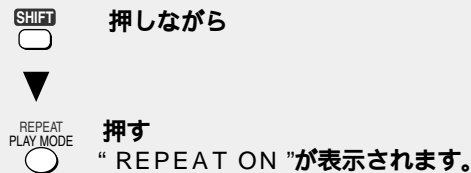
停止中に　押し続けて、聞きたいグループを選ぶ

G 1*HIT S

1 グループをくり返す（1 グループリピート）

1 グループプレイの設定をする。
（➡ 左記）

SHIFT **押しながら**

REPEAT PLAY MODE **押す**
“ REPEAT ON ”が表示されます。

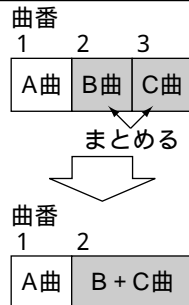
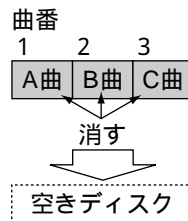
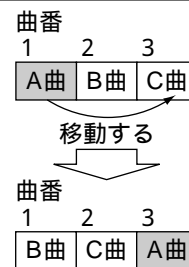
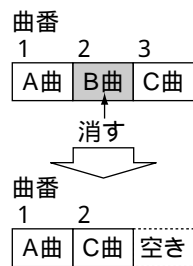
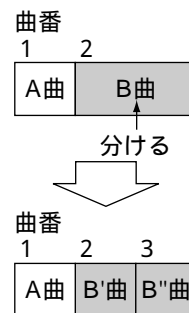
●REC/❚❚ MD ▶ **押す**
再生が始まります。

■ 解除するには
[SHIFT] を押しながら [REPEAT] を押して“ REPEAT OFF ”を表示させる。

MD を編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作ることができます。（録音用 MD のみ）
グループ編集（➡ 32 ページ）を行った MD で編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

準備：
① 編集したい MD を入れる。（➡ 16 ページ）
② [▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、
[■ ALL CLEAR] を押す。

こんな MD になります

2 曲を 1 つにまとめる（コンバイン ➡ 右記）

全曲を消す（オールイレース ➡ 36 ページ）

曲を移動（ムーブ ➡ 35 ページ）

トラックを消す（トラックイレース ➡ 37 ページ）

1 曲を 2 つに分ける（ディバイド ➡ 36 ページ）

2 曲を 1 つにまとめる（コンバイン）

●AUTO REC EDIT MODE

まとめる 2 曲の後ろの曲の演奏中に押して、“ COMBINE? ”を選ぶ

COMBINE?

曲のつなぎ目の前後をくり返し演奏します。（SP では 8 秒間、LP2 では 16 秒間、LP4 では 32 秒間）

■ 途中で解除するには
[■ ALL CLEAR] を押す。

■ 停止中でもできます
① [▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、[■ ALL CLEAR] を押す。
② [EDIT MODE] を押して、“ COMBINE? ”を選び、[ENTER] を押す。
③ [|◀◀] または [▶▶|] でまとめる曲の組み合わせを選び、[ENTER] を押す。
④ [ENTER] を押す。

お知らせ
- 2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲に付いていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
- SP/LP2/LP4 の異なるモードで記録された曲は 1 つにまとめられません。
- LP4 モードで録音された曲をつなげると、つないだ部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

準備：

① 編集したい MD を入れる。(➡ 16 ページ)
② [▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、
[■ ALL CLEAR] を押す。

曲を移動する（ムーブ）

●AUTO REC EDIT MODE

移動したい曲の演奏中に押して、“ MOVE? ”を選ぶ

ENTER **押す**

REC LEVEL SKIP

押して、移動先を選ぶ

ENTER **押す**

ENTER **押す**

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。

■ 停止中でもできます

① [▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、[■ ALL CLEAR] を押す。
② [EDIT MODE] を押して、“ MOVE? ”を選び、[ENTER] を押す。
③ [|◀◀] または [▶▶|] で移動する曲を選び、[ENTER] を押す。
④ [|◀◀] または [▶▶|] で移動先を選び、[ENTER] を押す。
⑤ [ENTER] を押す。

■ 途中で解除するには

[■ ALL CLEAR] を押す。

お知らせ

- グループ管理している MD で曲を移動しようとすると “ GROUP DATA FULL ”の表示が出て、移動ができない場合があります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。

準備：
① 編集したい MD を入れる。(➡ 16 ページ)
② [▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、
[■ ALL CLEAR] を押す。

1 曲を 2 つに分ける（ディバイド）

●AUTO REC EDIT MODE

2 つに分ける曲の演奏中に押して、“ DIVIDE? ”を選ぶ

DIVIDE?

ENTER

おおよその分けたい位置で、押す

DIVIDE

POS +000?

分けた位置から SP では 4 秒、LP2 では 8 秒、LP4 では 16 秒間を繰り返し演奏します。

REC LEVEL SKIP

押して、正確な位置を調節する

POS +006?

SP では前後 8 秒、LP2 では前後 16 秒、LP4 では前後 32 秒の範囲で調節できます。数値は− 128 から +127 の範囲で表示されます。

ENTER

押す

UTOC Wri

“ UTOC Writing ”点滅後、編集が完了し、分けた位置にトラックマークが付きます。

お知らせ

- タイトルの付いた曲を 2 つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。
- グループ管理している MD で 2 曲に分けようとすると“ GROUP DATA FULL ”の表示がでて、分けられない場合があります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。
- LP4 モードで録音した曲を 2 つに分けると、分けた部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

■ 途中で解除するには

[■ ALL CLEAR]を押す。

全曲を消す（オールイレース）

●AUTO REC EDIT MODE

停止中に押して、“ ALL ERASE? ”を選ぶ

ALL ERASE?

ENTER

押す

ALL ERASE ?

PRESS ENTER

ENTER

押す

UTOC Wri

“ UTOC Writing ”→“ BLANK DISC ”表示になり、編集が完了します。

■ 途中で解除するには

[■ ALL CLEAR]を押す。

準備：
① 編集したい MD を入れる。(➡ 16 ページ)
② [▶ MD]を押して、" MD " を選び、
[■ ALL CLEAR]を押す。

トラックを消す（トラックイレース）

●AUTO REC EDIT MODE
停止中に押して、" TRACK ERASE? "を選ぶ

TRACK ERASE?

REC LEVEL SKIP
押して、消したい曲番を選ぶ

ERASE 2?

選んだ曲

数曲を消すときは、曲番を選んで [ENTER]を押す操作をくり返す

ENTER **押す**

UTOC Wr

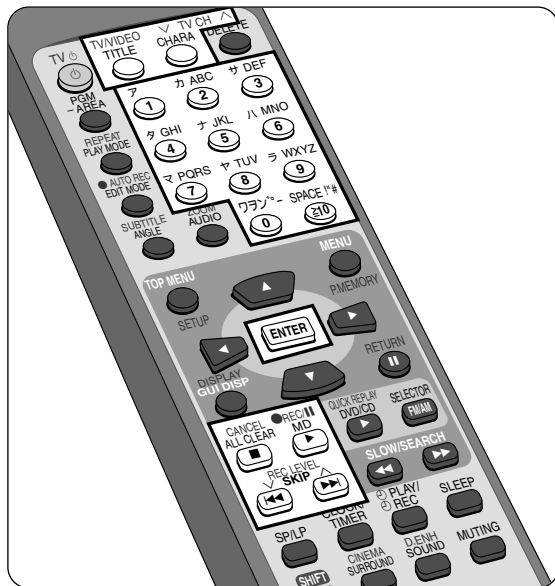
" UTOC Writing "の点滅後、編集が完了します。

■ 途中で解除するには
[■ ALL CLEAR]を押す。

■" SELECT OVER "が表示されたら
24 曲を超えて消そうとしました。
1 回の操作では、これ以上は消せません。
何回かに分けて操作してください。

■ 全曲消すと
ディスクタイトルも消えます。
グループ管理している場合、そのグループ名も消えます。

■ トラックイレースは演奏中（または一時停止中）でもできます
① 消したい曲を演奏（または一時停止）する。
② [EDIT MODE] を押して、" TRACK ERASE? " を選び、[ENTER] を押す。
③ [ENTER] を押す。

MD にタイトルを付ける

- MD の名前（ディスクタイトル）や曲の名前（トラックタイトル）が各 100 文字まで記録できます。
  LP2/LP4 で録音した場合は、97 文字になります。
- 1 枚の MD にはアルファベットで約 1700 文字記録できます。（文字の種類、曲数の関係で、少し減ることがあります。）
- LP2/LP4 で録音した場合、曲のタイトルの先頭に「LP:」と自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。また、グループ編集をしていると、グループ管理情報が記録されるため、入力できる文字数は少なくなります。

■ **文字の種類**

カタカナ（大、小）：アイウエオァィゥェォなど
アルファベット（大）：ABCDEFG など
アルファベット（小）：abcdefg など
数字：0123456789
記号：␣ ! " # $ % & ' ( ) ∗ + , − . / : ; < = > ? @ _ `
␣ は空白を意味します。

準備：
① 編集したい MD を入れる。（➡ 16 ページ）
② [▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、[■ ALL CLEAR] を押す。

録音済み MD にタイトルを付ける

ディスクタイトルを付ける

TV/VIDEO TITLE **停止中に押す**

DISC? TITLE

ENTER **押す**

タイトル入力画面になります。

文字を入力する（➡ 39 ページ）

ENTER **押す**

UTOC Wri

“ UTOC Writing ”点滅後、タイトル入力が完了し、トラックタイトルの入力画面になります。
続けてトラックタイトルを入力するときは、「トラックタイトルを付ける」（➡ 右記）の曲番を選ぶ手順から操作してください。

トラックタイトルを付ける

TV/VIDEO TITLE **停止中に押す**

REC LEVEL SKIP **押して、曲番を選ぶ**

ENTER **押す**

タイトル入力画面になります。

文字を入力する（➡ 39 ページ）

ENTER **押す**

UTOC Wri

“ UTOC Writing ”点滅後、次のトラックタイトルの入力画面になります。

[ENTER] を押して、くり返し必要なタイトルを入力する
すべてのトラックタイトルの入力が終わると、ディスクタイトルの画面になります。

■ **途中で止めるには**
[■ ALL CLEAR] を押す。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、以下の方法で入力してください。
選んだ文字がカーソル部分に入力されます。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

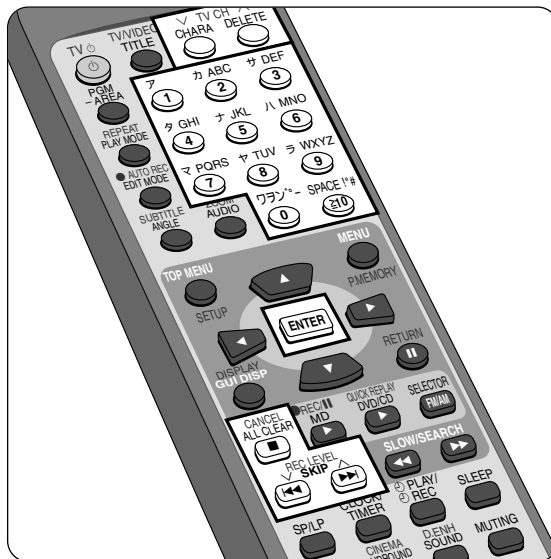
各ボタンを押すたびに、1 文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
	ア	A	a	1
ア ①	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC ②	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF ③	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI ④	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL ⑤	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO ⑥	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS ⑦	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV ⑧	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ ⑨	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜- ⓪	ワヲン"° ー			0

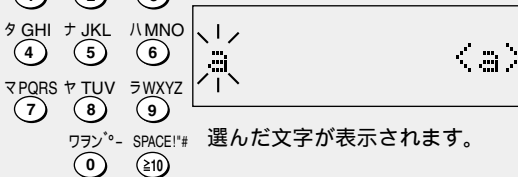
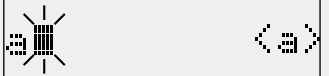
■ **記号を入力するには**

[≧10 SPACE!"#] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) ＊ + , − . / : ; < = > ? @ _ `

␣ は空白を意味します。

CHARA
押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに < ア > → <A> → <a> → <1>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

■ **文字を削除するには**

① [|◀◀] または [▶▶|] でカーソルを動かし、削除する文字の上に置く。
② [DELETE] を押す。
カーソル位置の文字が削除され、後ろに文字があるときは前に詰まります。

■ **文字の間に新しい文字や空白を入れるには**

① [|◀◀] または [▶▶|] でカーソルを動かし、挿入位置の右の文字の上に置く。
② 新しい文字を入力する。
空白を入れる場合は、[≧10 SPACE!"#] を押し、空白を選ぶ。続けて入れる場合は、[▶▶|] でカーソルを動かし、[≧10 SPACE!"#] を押し、空白を選ぶ。

■ **゛ ゜ ーを入力するには**

[0 ワヲン゛゜ー] を押して、"゛"、"゜"または"ー"を選ぶ。
濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。あり得ない表記の場合は選択候補として現れません。

■ **文字を変更するには**

① 変更したい文字を消す。
② 新しい文字を入力する。

■ **入力を途中で止めるには**

[■ ALL CLEAR] を押す。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

■ **入力中に 1 文字あけるには**

[▶▶|] を押す。
カーソルが右に移動します。

お知らせ

- 文字と、濁点/半濁点の間に空白などは入れられません。
- 入力中に最大文字数を超える操作をした場合は、"TITLE FULL"と表示されます。
- 文字の種類は入力中でも切り換えられます。

MD にタイトルを付ける（つづき）

Ⓐ 丸録り時（➡ 31 ページ）は、グループタイトルと全トラックタイトルを付けることができます。

Ⓑ 丸録り以外の時は、録音中のタイトルのみ付けることができます。

お知らせ

- 録音/演奏が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。
- 入力中に録音/演奏が終了した場合、入力状態は解除されます。ただし、すでに［ENTER］を押して確定したタイトルは記録されています。
- 入力中に録音が終了した場合は、入力途中の文字も含めて、タイトルの書き込みが行われます。
- MD の録音曲数よりもタイトルの方が多い場合は、余ったタイトルは記録されません。
- 演奏中にタイトルを付けた後、“ UTOC ”の点灯中は、文字入力以外の編集はできません。
  一度、［■ ALL CLEAR］を押して、“ UTOC Writing ”の点滅後に行ってください。

CD を録音中にまとめてタイトル（トラック・グループ）を付ける

TV/VIDEO TITLE

録音中に押す

Ⓐ 丸録り時：
グループタイトル入力画面になります。

G 1 TITLE

Ⓑ 丸録り以外：
トラックタイトル入力画面になります。

TR 1 TITLE

REC

文字を入力する（➡ 39 ページ）

ENTER

押す

丸録り時でないとき（Ⓑ）は“ TITLE Writing ”と表示された後、通常の表示に戻ります。

丸録り時（Ⓐ）は次（右上）の操作に進みます

Ⓐ 丸録り時のみ

トラックタイトル入力画面になります。

CD1 → MD1

文字を入力（➡ 39 ページ）**して［ENTER］を押す操作をくり返し、最後の曲までタイトルを入力する**

（曲名を入力しなくても、［ENTER］を押すと、次の曲に進みます）

最後の曲まで終了すると“ TITLE Writing ”と表示された後、通常の表示に戻ります。

■ 途中で解除するには

［■ ALL CLEAR］を押すと入力が解除されます。ただし、すでに［ENTER］を押して確定したタイトルは残ります。

■ 録音した MD の演奏中にタイトルを付けることもできます（演奏中の曲のみ）

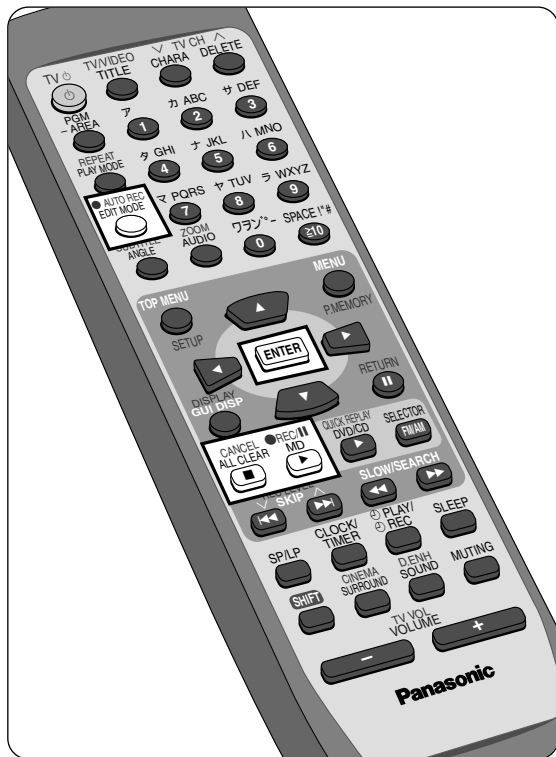
① 演奏中に［TITLE］を押す。

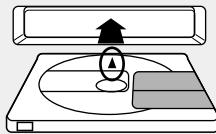
② 文字を入力（➡ 39 ページ）して、［ENTER］を押す。
“ TITLE Writing ”が表示された後、通常の表示に戻ります。

■ DVD/CD からの録音以外は、まとめてトラックタイトルを付けることはできません。

- MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。一度タイトルを入れておけば、二度目からは入力の手間が省けます。
- 下記の「タイトルをコピーする前に」をお読みください。

■タイトルをコピーする前に
- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 演奏専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

準備：
[▶ MD] を押して、“ MD ”を選び、
[■ ALL CLEAR] を押す。

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

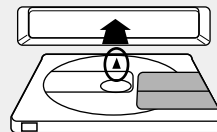
コピー元の MD を入れる

停止中に押して、“ TITLE ST.? ”を選ぶ

押す

押す

本体

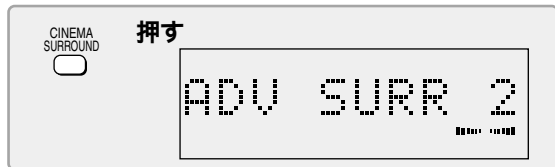
押して、コピー先の MD と入れ替える

押す

点滅後、コピーが完了します。

■ 途中で解除するには
[■ ALL CLEAR] を押す。

お知らせ
- 本機が記憶できるタイトルは MD1 枚分です。
- 電源を切ると本機のタイトルは失われます。
- LP2／LP4 で録音された曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に“ LP: ”と表示されます。
- コピー元のディスクが、グループ管理されている場合、コピー先にグループ管理情報もコピーされます。

音に臨場感を与える（ADVANCED SURROUND）

(ADVANCED SURROUND: アドバンスド サラウンド)

押すたびに

ADV SURR 1 ：音に広がりを与えます。

ADV SURR 2 ：音に臨場感を与え、広がりと奥行きが出ます。

SURR OFF：音場効果を使いません。

お知らせ

- 雑音が多いときや音がひずむときは、“ SURR OFF ”を選んでください。
- ディスクによっては、効果の出にくいものもあります。
- 録音時には“ SURR OFF ”にしてから録音操作をしてください。
- ヘッドホンでは、効果が薄くなります。

好みの音質を楽しむ（イコライザー）

MANUAL EQ を使う

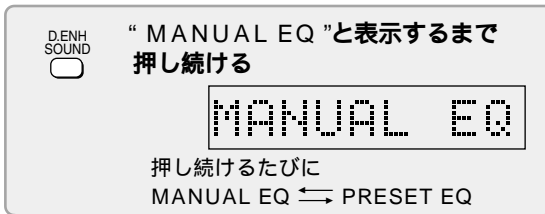
BASS（低域）と TREBLE（高域）の調整ができます。

押して、“ BASS ”（低域）あるいは“ TREBLE ”（高域）選ぶ

BASS 0

押すたびに

BASS → TREBLE →元の表示

± 4 ステップずつ調整できます。

PRESET EQ を使う

Heavy、Clear、Soft、Vocal の 4 種類の音質が選べます。

押して、好みの音質を選ぶ

EQ → Heavy

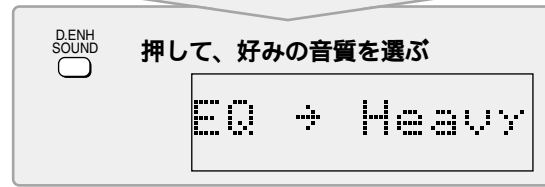
押すたびに

Heavy ：ロックなど、パンチを効かせるとき

Clear ： ジャズなど、高音部を鮮明にするとき

Soft ： BGM として聞くとき

Vocal ：ボーカルにつやを出したいとき

OFF ： 音質効果を使わないとき

映画のセリフを聞き取りやすくする
（ダイアログ　エンハンサー）

DVD

（ドルビーデジタルで記録され、センターチャンネルにセリフが入っているディスク）

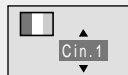
SHIFT **押しながら** D.ENH SOUND **押す**

- ディスクによっては効果の出にくいものや、出ないものがあります。

映画向けの画質にする（シネマ）

DVD

SHIFT **押しながら**

CINEMA SURROUND **押す**

Cin.1 ：映画館で見ているようなしっとり感、さらに暗い場面では細部をはっきり
Cin.2 ：昔の映画などをくっきり、さらに暗い場面では細部をはっきり
Nor.：通常画質

- 好みの画質に調整することもできます。
  （**画質モード**のユーザー画質 ➡ 25 ページ）

表示を切り換える

時計表示や MD の残り時間を確かめたいときに使用します。
本機の状態（再生・停止・録音）や、ソース（音源）によって表示する内容は異なります。

SHIFT **押しながら**

▼

DISPLAY GUI DISP **好みの表示になるまで押す**

表示部を暗くし、イルミネーションを消す（ディマー）
上記の操作で表示部を暗くし、イルミネーションを消した状態を選ぶことができます。
暗い部屋で映画を見ているときなどに便利です。

お知らせ

電源を切ったり、ソースを切り換えたりすると解除されます。

一時的に消音する（ミューティング）

電話がかかってきたときなどに便利です。

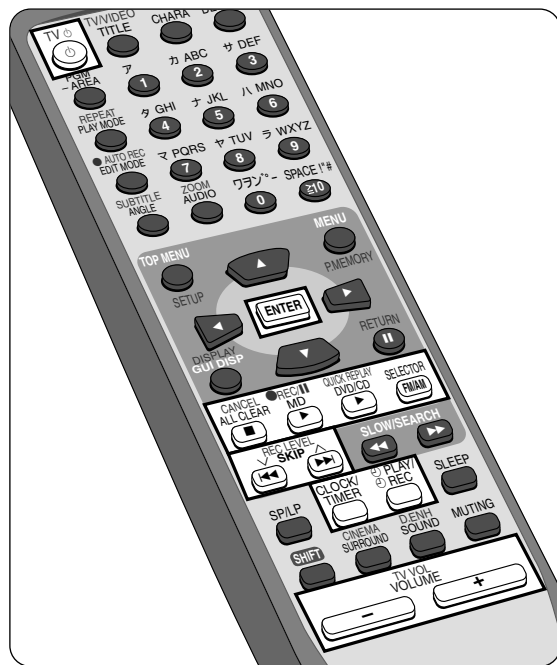
MUTING **押す**

MUTING

解除するには、もう一度押して、“ MUTING ”を消す。
または、[VOLUME] を“ --dB ”にする。

お知らせ

電源を切っても解除されます。

タイマーを使う

おめざめタイマーは

- 設定した時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- 時刻設定を一度しておくと、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

留守録タイマーは

- 設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

おやすみタイマーは

- 指定した時間が経過すると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。

準備：

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（➡ 13 ページ）
③ 録音用 MD を入れる。（留守録タイマーのみ）

おめざめタイマーと留守録タイマーは同時には使えません。

おめざめタイマーを使う

表示例：6:30 ～ 7:40 まで好みのソースを演奏する場合

CLOCK/TIMER **2 回押して、おめざめタイマー時刻設定画面にする**

0:00→ 0:00 ◴PLAY

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC →元の表示

REC LEVEL SKIP **10 秒以内** **押して、開始時刻に合わせる**

6:30→ 0:00

ENTER **押す**

REC LEVEL SKIP **押して、終了時刻に合わせる**

6:30→ 7:40

ENTER **押す**

ソースと音量を選ぶ

●REC/❚❚ MD　QUICK REPLAY DVD/CD　SELECTOR FM/AM　① **ソースを演奏し、**

TV VOL VOLUME　② **音量を調節し、**

CANCEL ALL CLEAR　③ **MD・DVD/CD は演奏を止める。**

◴ PLAY/◴ REC **押して、“◴ PLAY ”を選ぶ**

TIMER-PLAY ◴PLAY

TV ⏻ **押して、電源を切る**

設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、演奏します。
（動作中は、“ ◴ PLAY ” が点滅）

■解除するには

[◴ PLAY/◴ REC]を押して、“ ◴ PLAY ”を消す。

■外部機器を使ったタイマー設定

上記手順**「ソースと音量を選ぶ」**で［SELECTOR］を押し、“ AUX ”にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

■好みの曲を設定するには

上記手順**「ソースと音量を選ぶ」**の前に、好みの曲を予約する。（➡ 21 ページ）

留守録タイマーを使う

表示例：18:30 ～ 20:00 まで好みの放送を録音する場合

CLOCK/TIMER

3 回押して、留守録タイマー時刻設定画面にする

0:00→→ 0:00 ◴REC

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC →元の表示

REC LEVEL SKIP

10 秒以内
押して、開始時刻に合わせる

18:30→→ 0:00

ENTER **押す**

REC LEVEL SKIP **押して、終了時刻に合わせる**

18:30→→20:00

ENTER **押す**

放送局を受信する（➡ 26 ページ）

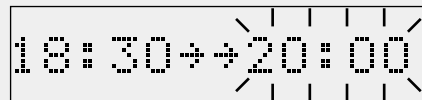
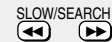
SELECTOR FM/AM **①“ FM ”または“ AM ”を選び、**

SLOW/SEARCH

または **② 周波数、またはチャンネルを合わせる。**

REC LEVEL SKIP

◴ PLAY/◴ REC **押して、“ ◴ REC ”を選ぶ**

TIMER-REC ◴REC

TV ⏻ **押して、電源を切る**

- 頭切れ防止のため、設定した時刻の 30 秒前になると、タイマー動作が始まります。
  （動作中は、“ ◴ REC ” が点滅）
- 録音時、音量は自動的に最小になります。

■ 解除するには

[◴ PLAY/◴ REC] を押して、“ ◴ REC ”を消す。

■外部機器を使ったタイマー設定

上記手順**「放送局を受信する」**で [SELECTOR] を押し、“ AUX ”にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。

■ **解除するには**
[SLEEP] を押して、“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

■ **残り時間を確かめるには**
[SLEEP] を 1 回押す。
残り時間が表示されます。

■ **残り時間を変えるには**
[SLEEP] を押して、新たに時間を設定する。

お知らせ

- おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

いろいろなタイマー操作について

おめざめタイマー・留守録タイマー共通

■ **予約した内容を確かめるには**

電源「切」のとき
[CLOCK/TIMER] を押す。
自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。
- おめざめタイマー
  開始・終了時刻 → ソース → 音量
- 留守録タイマー
  開始・終了時刻 → ソース → 録音レベル → 録音モード

電源「入」のとき
[CLOCK/TIMER] を数回押すと、“ ◴ PLAY ”(または“ ◴ REC ”) の開始・終了時刻表示が表示されます。

■ **操作を間違えたり、予約した内容を変えるときは**
① 電源を入れ、[◴ PLAY/◴ REC] を押して、“ ◴ REC ” を消す。
② 最初からやり直す。

■ **予約した後に、本機で演奏を楽しむには**
① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
② 演奏後は、電源を切る。
音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

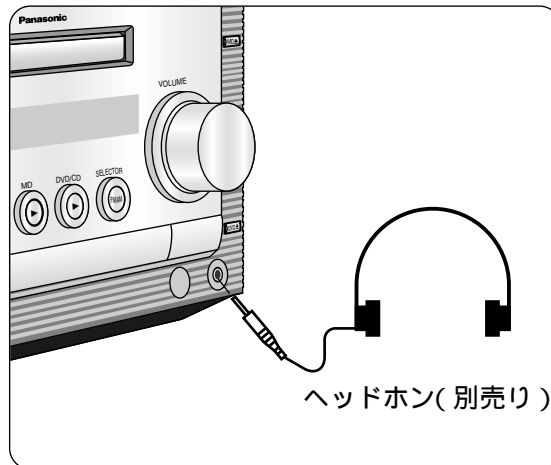
■ **タイマー動作する/動作しないを切り換えるには**
タイマーは、“ ◴ PLAY ”(または“ ◴ REC ”) が表示中は、予約通りに毎日動作します。動作させないときは [◴ PLAY/◴ REC]を押して、“ ◴ PLAY ”(または“ ◴ REC ”) の表示を消します。

お知らせ

- MD に録音するときには、好みの録音モード (➡ 29 ページ) にして、留守録タイマーを使うこともできます。(選べるモードはソースによって異なります。)
  ただし、TURN BACK または TURN/TIME モードを選んでも、設定した開始時刻から録音が始まります。
- MD に録音するときには、留守録タイマー設定前に、SP/LP2/LP4 のいずれかのモード (➡ 28 ページ) を選んでおいてください。設定された時点でのモードが記憶されます。
- MD に録音するときには、留守録タイマー設定前に、録音レベル (➡ 29 ページ) を設定しておいてください。設定された時点でのレベルが記憶されます。

ヘッドホンを使う

別売り品の品番は、2002 年 4 月現在のものです。
品番は変更されることがあります。

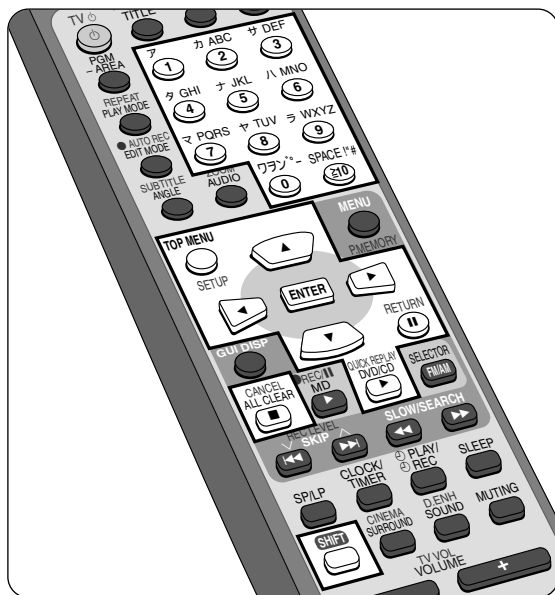
ヘッドホン(別売り)

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ (M3)
- 推奨品：　RP-HT530、RP-HT242 (ともに別売り)

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

初期設定を変える

（網掛け）は工場出荷時を表しています。

準備：[▶ DVD／CD]を押して､入力を切り換える。

お買い上げ後初めてのときは「クイックセットアップ」が表示されます。(➡ 13 ページ)

ディスク DVD

音声言語

言語（音声）が選べます。

- 日本語
- 英語
- オリジナル※1
- その他＊＊＊＊※2

字幕言語

言語（字幕）が選べます。

- オート※3
- 日本語
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

メニュー言語

メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。

- 日本語
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

視聴制限（➡ 右記）

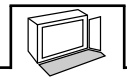
DVD の視聴が制限できます。

- レベル 8 ：すべてのディスクが再生可
- レベル 7 ～ 1 ：制限レベルの記録がされているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可
- レベル 0 ：すべてのディスクが再生不可
- ロック解除
- 暗証番号変更
- レベル変更
- 一時解除

※1“ オリジナル ”：ディスクの最優先言語が選ばれます。

※2“ その他 ”：数字ボタンで言語番号を入力します。(➡ 49 ページ)

※3“ オート ”：“ 音声言語で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

映像 DVD VCD

TV アスペクト

お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。

- 4 ： 3 パン＆スキャン
- 4 ： 3 レターボックス
- 16 ： 9

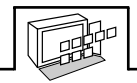
スチルモード

静止画像の表示方法が選べます。

- オート
- フィールド
- フレーム

■フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。

- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

画面表示

画面メニュー言語

初期設定画面の言語や操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。

- 日本語
- English（英語）

画面メッセージ

操作時の表示をテレビ画面に表示する、しないが選べます。

- 入
- 切

■ ひとつ前の画面に戻すには

[SHIFT] を押しながら [RETURN] を押す

■ 設定を終了するには

[SHIFT] を押しながら [SETUP] を押す

音声

PCM ダウンサンプリング変換 DVD (デジタル接続時のみ)

96 kHz 音声の再生方法を設定します。
接続機器が 96 kHz に対応していないときは「する」を選んでください。
アナログ接続時は、接続機器に関係なく「しない」を選んでください。

- しない： 96 kHz で出力（ただし、ディスクが著作権保護されていると、音声は出力されません。このときは「する」を選んでください。）
- する： 48 kHz に変換して出力

Dolby Digital (デジタル接続時のみ) DVD

デコーダー内蔵機器と接続している/いないに応じて、信号の出力状態を設定します。

- Bitstream ：接続しているとき
- PCM ：接続していないとき

DTS Digital Surround (デジタル接続時のみ) DVD

デコーダー内蔵機器と接続している/いないに応じて、信号の出力状態を設定します。

- Off ：接続していないとき
- Bitstream ：接続しているとき

音声のダイナミックレンジ圧縮（ドルビーデジタルのみ） DVD

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

- 切　● 入

早送りの時の音声 DVD VCD CD

早送りする時、音声がきこえるようにするか、しないかが選べます。

- あり　● なし

- 設定は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。

視聴制限

お子さまなどに見せたくない DVD がそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

- レベル 7 以下を選んだときは数字ボタンで暗証番号 (4 ケタ) を入力し、[ENTER] を押し、もう一度 [ENTER] を押してください。(ロックがかかります。)
  間違った数字を入力してしまったときは、[ENTER] を押さない限り [SHIFT] を押しながら [CANCEL] またはカーソルボタン [◀] を押すと取り消せます。
- 制限レベルが記録されていないディスクを制限したときは "0 すべて不可" を選んでください。
- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。
  暗証番号は忘れないでください。

■ 制限内容を変更するには (レベル 7 〜 0 のとき)

数字ボタンで暗証番号 (4 ケタ) を入力し、[ENTER] を押してください。

ロック解除：制限を解除してレベル 8 に戻す
暗証番号変更：暗証番号を変更する
レベル変更：制限レベルを変更する
一時解除：一時的に制限を解除する

- "一時解除" を選ぶと、電源を切る、トレイを開ける、または入力を切り換えるまでレベル 8 の状態が続きます。

操作によって異なる画面がでることがあります、そのときは画面の指示に従ってください。

言語番号一覧表

6565：アファル	6983：スペイン	7473：イディッシュ	7865：ナウル	8387：スワヒリ
6566：アブハジア	6984：エストニア	7487：ジャワ	7869：ネパール	8465：タミル
6570：アフリカーンス	6985：バスク	7565：グルジア	7876：オランダ	8469：テルグ
6577：アムハラ	7065：ペルシャ	7575：カザフ	7879：ノルウェー	8471：タジク
6582：アラビア	7073：フィンランド	7576：グリーンランド	7982：オーリヤ	8472：タイ
6583：アッサム	7074：フィジー	7577：カンボジア	8065：パンジャブ	8473：ティグリニア
6588：アイマラ	7079：フェロー	7578：カンナダ	8076：ポーランド	8475：トルクメン
6590：アゼルバイジャン	7082：フランス	7579：韓国（朝鮮）語	8083：パシュト	8476：タガログ
6665：バシキール	7089：フリジア	7583：カシミール	8084：ポルトガル	8479：トンガ
6669：ベロルシア（白ロシア）	7165：アイルランド	7585：クルド	8185：ケチュア	8482：トルコ
6671：ブルガリア	7168：（スコットランド）ゲール	7589：キルギス	8277：レトロマンス	8484：タタール
6672：ビハール	7176：ガリチア	7665：ラテン	8279：ルーマニア	8487：トウイ
6678：ベンガル（バングラ）	7178：グアラニー	7678：リンガラ	8285：ロシア	8575：ウクライナ
6679：チベット	7185：グジャラト	7679：ラオ	8365：サンスクリット	8582：ウルドゥー
6682：ブルターニュ	7265：ハウサ	7684：リトアニア	8368：シンド	8590：ウズベク
6765：カタロニア	7273：ヒンディー	7686：ラトビア（レット）	8372：セルボクロアチア	8673：ベトナム
6779：コルシカ	7282：クロアチア	7771：マダガスカル	8373：シンハラ	8679：ヴォラピュック
6783：チェコ	7285：ハンガリー	7773：マオリ	8375：スロバキア	8779：ウォロフ
6789：ウェールズ	7289：アルメニア	7775：マケドニア	8376：スロベニア	8872：コーサ
6865：デンマーク	7365：インターリングア	7776：マラヤーラム	8377：サモア	8979：ヨルバ
6869：ドイツ	7378：インドネシア	7778：モンゴル	8378：ショナ	9072：中国語
6890：ブータン	7383：アイスランド	7779：モルダビア	8379：ソマリ	9085：ズールー
6976：ギリシャ	7384：イタリア	7782：マラッタ	8381：アルバニア	
6978：英語	7387：ヘブライ	7783：マライ（マレー）	8382：セルビア	
6979：エスペラント	7465：日本語	7784：マルタ	8385：スンダ	
		7789：ビルマ	8386：スウェーデン	

MD ネットワーク機能を使う

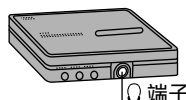
MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーや、ビジュアル/タイトルプリンター（ともに別売り）と組み合わせることで、MD の楽しさがさらに広がります。

対応品

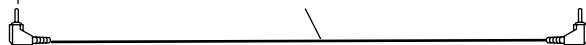
カタログにこのマークが付いている製品です。

P-MD

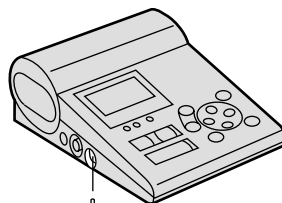
ポータブル MD プレーヤー
（パナソニックの MD ネットワーク対応品）

端子

MD ネットワークコード
（別売り： RP-CAM9G15）

ポータブル MD プレーヤーをつなぐ

- 本機からポータブル MD プレーヤーをコントロールして、録音/タイトルコピーが簡単に行えます。
- 電源を切った状態で接続してください。

ビジュアル／タイトルプリンターをつなぐ

プラグは奥までしっかり差し込んでください。

ビジュアル/タイトルプリンター
（別売り： SH-CP30）

MD ネットワークコード
（ビジュアル/タイトルプリンターに付属）

文字入力端子
（青色の端子）

- MD に付いているタイトルを元にして、MD のラベル印刷ができます。
- 詳しくは、ビジュアル/タイトルプリンターの説明書をお読みください。

お知らせ

- グループタイトルを印刷することはできません。

お願い

- ポータブル MD プレーヤーやビジュアルタイトルプリンターは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

準備：

① ポータブル MD プレーヤーに、録音元 MD を入れる。
② 本機に、録音用 MD を入れる。
③ [SP/LP] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 28 ページ)

ネットワーク機能で MD から MD に録音する

ポータブル MD プレーヤーからのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

全曲を録音する

SELECTOR
FM/AM

押して、“ P-MD ”を選ぶ

総曲数

自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブル MD 側の総曲数が表示されます。ディスクタイトルが付いているときはタイトルも表示されます。

ポータブル MD 側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されています。

SHIFT

押しながら ▶

●REC/❚❚
MD

押す

曲番

P-MD 1Tr

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。

1 曲ずつ録音する

① [SELECTOR] を押して“ P-MD ”を選ぶ。
② [|◀◀] または [▶▶|] を押して曲番を選ぶ。
確認の意味で、選んだ曲の演奏が自動的に始まります。
③ [SHIFT] を押しながら、[● REC/❚❚] を押す。
自動的に曲の始めに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると自動停止します。

■ 途中で止めるには

[■ ALL CLEAR] を押す。

■ 録音用 MD は少し余裕のあるものを

録音元 MD にトラックマークが付いているときは、新たに録音した MD の同じ位置に、約 1 秒間の無音部が記録されます。このため、実際の録音時間は録音元 MD の演奏時間より長くなります。録音の失敗を防ぐために、少し余裕のある MD をお使いください。

■ 録音が終わったら

ポータブル MD プレーヤーの電池の消耗を防ぐため、コードを抜いてください。

■“ P-MD ”が点滅したら

ボタン操作がない状態で約 4 分以上放置されているため、MD ネットワークが休止状態になっています。
ネットワーク機能を使うときは、もう一度[SELECTOR] を押してください。

■ 動作中（TOC 読み込みなど）に“ P-MD ERROR ” と表示されたら

MD ネットワークに異常があります。
ポータブル MD プレーヤーの電池残量や、コードの接続を確認して、もう一度[SELECTOR]を押してください。

お知らせ

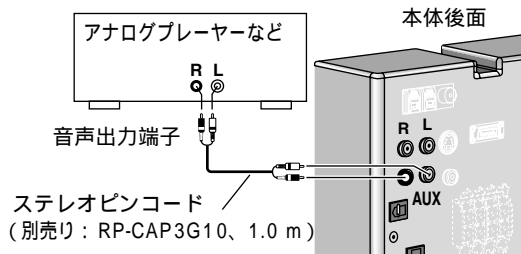
- MD ネットワーク対応の MD ステレオシステムどうしをつないでも、この機能は働きません。
- 市販の演奏用 MD から録音する場合、タイトルはコピーされません。
- ディスクタイトルが付いている MD に録音した場合は、ディスクタイトルはコピーされません。
また、1 曲ずつ録音した場合やコピー先にグループ管理情報が入っている場合もディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。
- SP/LP2/LP4 の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。
- 録音元 MD にタイトルが付いているときは、そのタイトルが、本機側の MD に、自動的にコピーされます。
- ポータブル MD がグループ対応でない場合、ディスクタイトルが正しくコピーされないことがあります。

別売り機器と組み合わせて使う

別売り品の品番は、2002 年 4 月現在のものです。
品番は変更されることがあります。

再生機器を接続する

アナログプレーヤーなどを接続

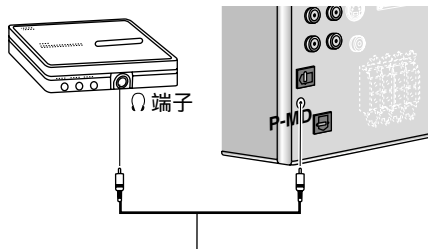
本体後面の“ AUX ”端子に接続します。

■ **アナログプレーヤーを接続するには**
フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

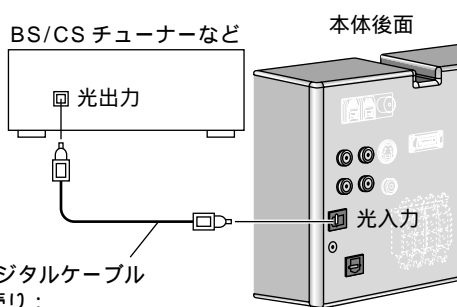
推奨品：当社製アナログプレーヤー SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。
そのままつなぐと音が小さくなります。

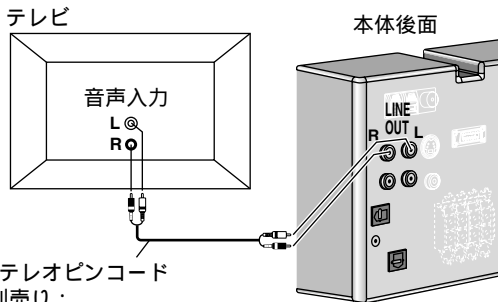
ポータブル MD プレーヤーを接続

本体後面の“ P-MD ”端子に接続します。

ポータブル MD プレーヤー（別売り）　本体後面

BS/CS チューナーなどを接続

本体後面の“ 光入力 ”端子に接続します。

端子の形状に合わせて差し込んでください。

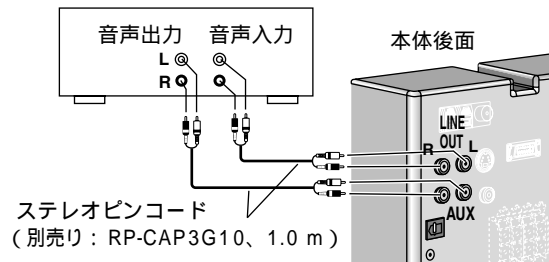
本機の音声をテレビのスピーカーで楽しむ

本体後面の“ LINE OUT ”端子とテレビの“ 音声入力 ”端子（ビデオ 2 など）を接続します。

お知らせ

- ノイズの原因となることがありますので、ステレオピンコードとビデオコードはなるべく束ねるようにしてください。

録音機器を接続する

カセットデッキを接続

カセットデッキの“ 音声出力 ”端子と本体後面の“ AUX ”端子、カセットデッキの“ 音声入力 ”端子と本体後面の“ LINE OUT ”端子を接続します。

お知らせ

- 本機の AUX 端子にはひとつの機器しか接続できません。アナログプレーヤー等との同時使用はできません。
- LINE OUT 端子からは AUX 端子に接続した機器の音声は出力されません。

CD レコーダーなどを接続

本体後面の“ 光出力 ”端子に接続します。

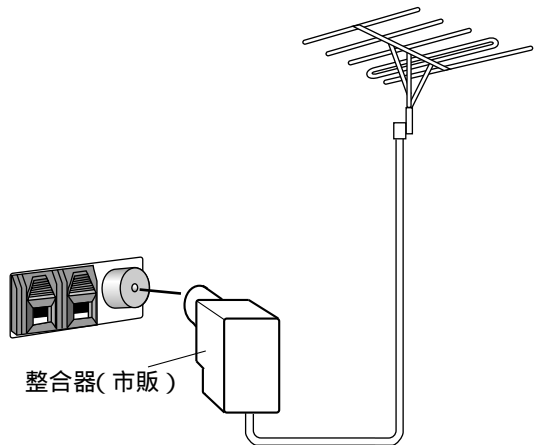
お知らせ

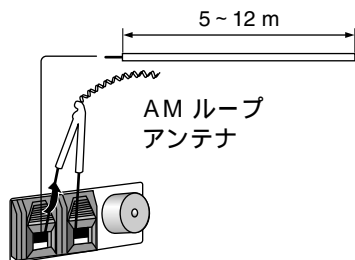
- 光出力端子から DVD/CD 以外の音声は出力されません。
- 5.1 チャンネル出力を持つ AV アンプを接続すると、マルチチャンネルで楽しむことができます。

屋外アンテナを接続する

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM（市販のビニール線）

付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

テレビのスピーカーを通して再生する

準備：
- テレビの電源を入れる。
- 本機の接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ 2 など）

本機で DVD などの演奏を始める

お知らせ
- 本機の音量は最小にしてください。
- ドルビーデジタル 5.1ch の DVD を再生しているときは、ADVANCED SURROUND（アドバンスド サラウンド）、0.1ch 再生、DIALOGUE ENHANCER（ダイアローグ エンハンサー）の各機能が使用できます。

別売り機器を再生する

準備：
テレビ、有線放送、BS/CS チューナーの場合は好みの放送局を受信する。

SELECTOR FM/AM
押して、“ AUX ”あるいは “ OPT IN ”を選ぶ

REPEAT PLAY MODE
“ OPT IN ”を選んだときのみ
押して、再生レベルを選ぶ
NORMAL（ノーマル）：通常のモード
HIGH（ハイ）：BS/CS 放送などで音量が小さい場合

ソースの演奏を始める

■ 本体で操作するには
[SELECTOR] を押して、“ AUX ”を選び、ソースの演奏を始める。

別売り機器に録音する

本機のソースの演奏を始める

録音機器側で録音操作をする

お知らせ
AUX に接続した機器からの録音はできません。

別売り機器と組み合わせて使う（つづき）

本機の MD に録音する

その他の機器から録音する

準備：

① テレビ、有線放送の場合は好みの放送局を受信する。
② 録音用 MD を入れる。

SELECTOR FM/AM **押して、“ AUX ”または“ OPT IN ”を選ぶ**

REPEAT PLAY MODE “ OPT IN ”を選んだときのみ
押して、録音/再生レベルを選ぶ
NORMAL ：通常のモード
HIGH ：BS/CS 放送などで音量が小さい場合

●AUTO REC EDIT MODE **押して、録音モードを選ぶ**

押すたびに

MANUAL → SYNCHRO → TURN BACK
（➡ 29 ページ）（➡ 下記）（➡ 29 ページ）
↑ ↓
TURN/TIME ← TIME MARK
（➡ 29 ページ）（➡ 29 ページ）

SHIFT **押しながら** ▶ ●REC/II MD **押す**

- “ MANUAL ”・“ TIME MARK ”選択時は録音が始まります。
- “ SYNCHRO ”選択時は録音待機状態になります。
- “ TURN BACK ”・“ TURN/TIME ”選択時は“ STANDBY ”と交互に点滅表示されているときに、もう一度 [SHIFT] 押しながら、[● REC/II] を押してください。

ソースの演奏を始める

“ SYNCHRO ”選択時は、演奏と同時に録音が始まります。

■ 途中で止めるには
[■ ALL CLEAR] を押す。

■ 一時停止するには（SYNCHRO 選択時以外）
[SHIFT] を押しながら [● REC／II] を押す。
解除するには同じ操作を行なう。

お知らせ

- 本機にはサンプリングレートコンバーター機能が付いているため、CS/BS チューナーの音声（32 kHz/48 kHz）も録音できます。
- 曲によっては、SYNCHRO 録音モードを使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、通常の方法で録音してください。

ポータブル MD プレーヤーから録音

52 ページ左下の接続のときに、以下の手順で録音できます。

準備： MD を入れる

SELECTOR FM/AM **押して、“ P-MD ”を選ぶ**

●AUTO REC EDIT MODE **押して、録音モード（下記参照）を選ぶ**

SHIFT **押しながら**

▼

●REC/II MD **押す**
“ MANUAL ”選択時は、録音が始まります。

ポータブル MD プレーヤーの演奏を始める
“ SYNCHRO ”選択時は、演奏と同時に録音が始まります。

録音モード

ポータブル MD プレーヤーの場合は、以下の録音モードのみ選べます。

- MANUAL ：通常の録音モード
- SYNCHRO ：接続した機器の演奏が始まると、自動的に録音も始まるモード
  無音の状態が約 3 秒続くと録音が一時停止し、演奏が再開すると録音も再開します。
  録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

音がひずむ場合は、ポータブル MD プレーヤーの音量を調節してください。

■ 途中で止めるには
[■ ALL CLEAR] を押す。

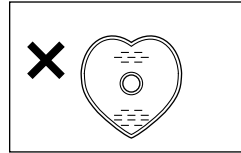
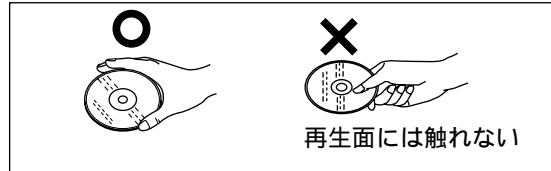
■ 一時停止するには
[SHIFT] を押しながら [● REC／II] を押す。
解除するには同じ操作を行なう。

DVD/CD について

リモコンで TV を操作する

本機のほか、当社製のテレビを本機のリモコンで操作できます。(ただし本機のリモコンでは、操作のできない機種があります。)
各操作についてくわしくは、テレビの説明書をご覧ください。

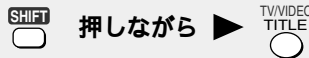
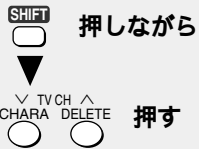
上記のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

■持ちかた

■汚れたときは

DVD、ビデオ CD、CD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス　(品番 VUA7091)
(サービスルート扱い)

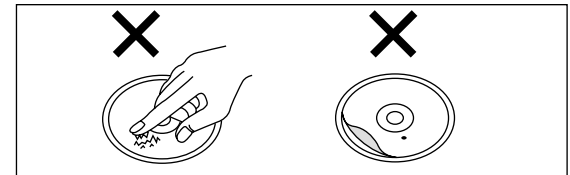
DVD-R

- 必ず専用の **DVD-RAM/PD ディスククリーナー LF-K200DCJ1 (別売り)、RFKZ0093 (サービスルート扱い)** でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
- 布や CD 用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
DVD-R は専用のクリーナー (左記) でふいてください。

取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

ラベル面をプリンターで印刷できるタイプのディスクを使う場合は、当社製のものをお使いください。(当社製以外のディスクを使うと、故障の原因となることがあります。)

保管

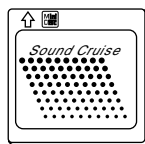
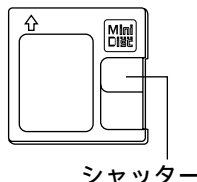
■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

MD について

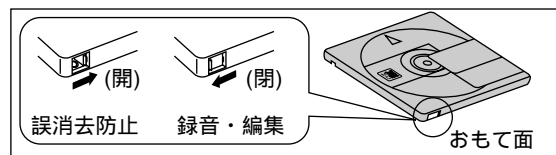
MD の種類

■演奏専用 MD
録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD
磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

■テープとは違います
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです。
ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために
MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“ コピーのコピー ”の禁止。）
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“ UTOC Writing ”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク
録音部分に記録される“ 区切り ”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲番まで記録することができます。

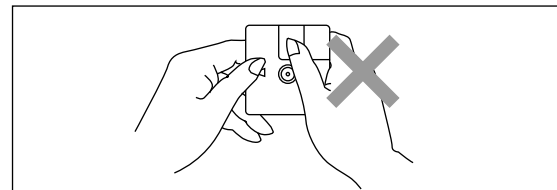
■TOC（トック）（Table of Contents）
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）
利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“ UTOC Writing ”と表示され注意を促します。

■MARKING（マーキング）
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

保管

■次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	(03) 3481-2121	静岡支部	(054) 254-2621
北海道支部	(011) 221-5088	中部支部	(052) 583-7590
盛岡支部	(019) 652-3201	北陸支部	(076) 221-3602
仙台支部	(022) 264-2266	京都支部	(075) 251-0134
長野支部	(026) 225-7111	大阪支部	(06) 6244-0351
大宮支部	(048) 643-5461	神戸支部	(078) 322-0561
上野支部	(03) 3832-1033	中国支部	(082) 249-6362
東京支部	(03) 3562-4455	四国支部	(087) 821-9191
西東京支部	(03) 3232-8301	九州支部	(092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	(03) 5286-1671	鹿児島支部	(099) 224-6211
立川支部	(042) 529-1500	那覇支部	(098) 863-1228
横浜支部	(045) 662-6551		

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

「DTS」、「DTS デジタルサラウンド」および「DTS デジタルアウト」は DTS 社の登録商標です。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力：総合出力 40 W
（全高調波ひずみ率 10 %, 6 Ω）
LOW：10 W + 10 W
HIGH：10 W + 10 W

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0 〜 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
TV 1 ch、2 ch、3 ch（音声）
アンテナ端子：75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 〜 1629 kHz（9 kHz ステップ）

DVD/CD 部

ディスク：8 /12 cm
DVD-Video、**DVD-R** (DVD-Video compatible)、**Video CD**、**CD-Audio** (CD-DA)、**CD-R/RW** (CD-DA、Video CD フォーマット)
MP3（再生可能な最大トラック数: 999 トラック、再生可能な最大グループ数: 99 グループ、ビットレート: 32 kbps 〜 320 kbps）
映像
信号方式：NTSC
映像出力：CV (75 Ω) 1 Vp-p
S1 映像出力：Y (75 Ω) 1 Vp-p、C (75 Ω) 0.286 Vp-p
D1 映像出力：Y (75 Ω) 1 Vp-p、CB (75 Ω) 0.7 Vp-p、CR (75 Ω) 0.7 Vp-p

音声
サンプリング周波数：CD 44.1 kHz、DVD 48/96 kHz
量子化ビット数：16/20/24 bit
ワウ・フラッター：測定限界以下
デジタルフィルター：8 fs
D/A コンバーター：デルターシグマ 192 kHz/24 bit
ピックアップ 光源：半導体レーザー
波長：CD/VCD 790 nm、DVD 658 nm

MD 部

形式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式：磁界変調オーバーライト方式
読取方式：半導体レーザー（λ =780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数：44.1 kHz
圧縮／伸張方式：ATRAC/ATRAC3 (MDLP) 方式
チャンネル数：2 チャンネルステレオ
ワウ・フラッター：測定限界以下
録音再生時間（80 分 MD 使用）：80 分（SP）、160 分（LP2）、320 分（LP4）

本体総合

電源：AC 100 V 50/60 Hz
消費電力：43 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：200 × 128 × 373 mm
質量：約 4.7 kg

電源スタンバイ時の消費電力：約 0.85 W

スピーカー部

形式：2 ウェイ 2 スピーカーシステム
ウーハー：10 cm コーンタイプ
ツイーター：6 cm リングシェープドドームタイプ
インピーダンス
LOW：6 Ω
HIGH：6 Ω
許容入力
LOW：20 W (Music)
HIGH：20 W (Music)
出力音圧レベル：84 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域：50 Hz 〜 50 kHz (–16 dB)
60 Hz 〜 45 kHz (–10 dB)
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：140 × 275 × 240 mm
質量：約 2.6 kg

注）1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

Q & A(よくあるご質問)

	Q(質問)	A(回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ(サービスルート扱い 品番:RFKZ0088KIT)が必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	52
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	52
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	—
	5.1 ch でサラウンドの音声を楽しみたい	本機に直接サラウンドスピーカーを接続することはできません。 本機の光出力とデコーダー内蔵のAV アンプを接続し、アンプにスピーカーを接続することでドルビーデジタルやDTS の5.1 ch の音声を楽しむことができます。	49・52
DVD	海外で買ったDVD は再生できるか	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式がNTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご覧ください。	表紙・7
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD のリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVD は再生できません。	—
	ビデオで録画できるか	ほとんどのDVD はコピー禁止処理がされており、録画できません。	—

	Q(質問)	A(回答)	参照ページ
MD	MD ネットワークに対応している機器は?	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	50・51
	MD で長時間録音する方法は?	[SP/LP] を押して"LP2"または"LP4"を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	28
	録音用 MD の残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで、[SHIFT]を押しながら[DISPLAY]を押してください。	29
	録音済み MD に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	イレース(➡ 37ページ)
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる?	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。 ただし、録音中にGUI を操作すると音に影響する場合があります。	—
	LP2、LP4 で録音されたMD はどのプレーヤーでも再生できる?	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に"LP:"と表示され、無音で再生されます。	—
その他	引っ越しするのだが、そのまま使える?	東日本・西日本に関係なく使えます。	—

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CAN'T COMBINE	コンバインできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T DIVIDE	ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、リピート各モード設定中は、タイトル編集できません。	各モードを解除したうえで、編集操作を行ってください。
DVD NO DISC	ディスクが入っていません。	ディスクを入れてください。
UNLOCK	光デジタルケーブルが接続されていません。	光デジタルケーブルの接続を確認してください。
DISC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EJECT ERROR LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れます。	MD を一度抜いて、電源を入れ、操作し直してください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書に従って、操作し直してください。
F □□ H □□ (□□は数字を示します)	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	もう一度、電源を「入」にしてください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOC エリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやコンバインができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1 つのグループを解除してください。

表　示	意　味	処　理
MD F □□ (□□は数字を示します)	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。 それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MD NO DISC	MD が入っていません。	MD を入れてください。
NO REMAIN	MD に空きのない状態で、DVD/CD の丸録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
PlaybackDISC	演奏専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
SCMS、 SCMS CAN'T COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
	SCMS が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。(➡ 29 ページ)	デジタルでは録音できません。[EDIT MODE] を押して、録音モードを" ANALOG-REC "に切り換えてください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルが 101 文字以上あります。	[ENTER] を押すと、101 文字以降は切り捨てられます。
	タイトルを書き込むだけの空きがない状態で、まとめてタイトルを入力しようとしました。	録音または再生が終了して" UTOC Writing "の点滅後に、つづきを入力してください。
----- READ、 MD TOC Read	DVD/CD または MD の TOC 情報を読み込んでいます。	この表示が消灯した後に操作してください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト (保護) がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
UTOC FULL	タイトルの書き込みまたはグループ編集できるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。 またはグループを 1 つ解除してください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。	不要な曲を消去するか、2 曲を 1 つにまとめてください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	電源が入らない	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	12
操作(DVD/CD)	各ボタンの操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	−
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度「切」「入」してください。	−
	[▶ DVD/CD]を押しても、再生が始まらない(または、すぐに停止する)	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。約1〜2時間待ってから使用してください。	−
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	7
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	55
		ディスクを正しくセットしてください。	14
		初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。	49
	音声/字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	−
	字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。	−
		字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。	19
		A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	−
	アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面のみ切り換えることができます。	−
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた すべての設定を工場出荷時に戻したい	設定の内容を工場出荷時に戻してください。 ソースがDVD/CDで停止中に、本体の[■ STOP]を押しながら、リモコンの[≧10]を押す。(テレビ画面に、“オールクリア”表示が出て、初期設定状態に戻ると消えます。)	−

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
操作(MD)	MDを入れても、自動で引き込まれない。MDを入れるのに、かなりの力がいる	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。電源を入れ直してみてください。	−
	再生できない	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。レンズ部の露付きが考えられます。約1〜2時間待ってから使用してください。	−
	録音・編集ができない タイトルが入力できない	誤消去防止状態になっていませんか。MDの誤消去防止つまみを閉じてください。	56
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする	MDに記録できる文字数(英数記号で最大約1700文字。カナはその約半分)を超えていませんか。文字数の少ないタイトルにつけ直してください。	38
	MDを入れても“MD TOC Read”が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で[MD ▲]を押しても、MDが出てこない	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。 ① [POWER ⏻/I]を押す。しばらくするとカチッと音がして、完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ[MD ▲]を押す。MDが出てきます。 (出てこないときは、手順①②をくりかえす) ③ MDを取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	−
	高速録音ができない	録音を終了した時点から74分間待たずに同じディスクを録音しようとしませんでしたか。74分待ってから録音してください。	30
	ディスクタイトルの表示がおかしい	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行ないませんでしたか。本機で入力をやり直してください。	32

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声	音声が出ない	音量を確認してください。	—
		接続を確認してください。	10-11
		本体表示部で“DTS NO AUDIO”が点滅していませんか。DTS の音声を再生するためにはデコーダー内蔵の AV アンプが必要です。	52
		音声がひずむ場合は、ADVANCED SURROUND を“OFF”にしてください。	42
	ラジオ放送で、雑音やひずみが多い	付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。AM ループアンテナを本機から離してください。送信所が遠い、または近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	12 53
	ラジオ電波による雑音で、テレビ画面に障害が出る	携帯電話などの充電器が近くにあると、雑音が発生する場合があります。	—
		本機とテレビの距離を離してみてください。本機やテレビで室内の簡易アンテナを使用している場合は、屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	53
映像	早送り／早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	—
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	11
		テレビの電源を確認してください。	—
		テレビの入力切り換えを確認してください。	—
		“TV アスペクト”が正しく設定されているか確認してください。	12
		TV 側の画面モードを変更してください。	—
リモコン	リモコンが働かない	乾電池は、⊕、⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	6
		リモコン受光部に向けて正しく操作してください。	6
表示	画面メッセージが出ない	“画面メッセージ”を“入”にしてください。	48
	GUI 画面が欠ける（または表示されない）	GUI 画面表示中、カーソルボタン [◀、▶] を押して右側の矢印アイコンを選び、[▲、▼] を押して上下に移動させてください。	24

MD の制約について

症状	原因
曲数や録音時間が最大ではないのに“UTOC FULL”が表示される	録音時間に関係なく、曲数が最大になると、録音できなくなります。（MD1 枚の最大曲数 254 曲）
	録音のしかたによっては、254 曲以下であっても録音できないことがあります。
ムーブやディバイド機能が使えない“GROUP DATA FULL”と表示される。	グループ管理している MD の UTOC エリアに空きがないために、ムーブやディバイドができません。
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4 の各モードが異なる曲間ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MD の最大録音時間にならない。	MD は、2 秒以下の音声を録音する場合でも、約 2 秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が少なくなります。

お手入れ

■ 本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ MD を良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

お知らせ

■ DVD/CD について

- 使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

■ 保証書 （別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、DVD/MD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

60 ～ 61 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	DVD/MD ステレオシステム
品　番	SC-PM1DVD
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ナショナル／パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北 海 道 地 区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東 北 地 区

地区	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首 都 圏 地 区

地区	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中 部 地 区

地区	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近 畿 地 区

地区	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中 国 地 区

地区	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四 国 地 区

地区	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九 州 地 区

地区	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

地区	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

0102

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

さくいん

愛情点検

長年ご使用の DVD/MD ステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

品番	SC-PM1DVD	お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　　）　―	お客様ご相談窓口	☎（　　）　―

松下電器産業株式会社　AVC ネットワーク事業グループ
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT6539-4S
H0402HM5082